

埼玉県議会議員

県政報告(令和3年度予算特集)

令和3年(2021年)

木下たかし政務活動事務所

発行

埼玉県議会 自由民主党議員団

〒350-0225

坂戸市日の出町10-2 早川ビル2F

TEL049-282-1000 FAX049-282-1010

E-mail: kaikaku@grace.ocn.ne.jp

木下たかし

県議会2月定例会報告

令和3年度予算

2兆1,393億6,522万円(一般会計)

県議会2月定例会は、県政史上最大となる当初予算（一般会計：2兆1,198億4,300万円）および補正予算（一般会計：195億2,222万円）等を議決し、3月26日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種体制の整備や病床確保のための医療機関への補助（約1,000億3,542万円）をはじめ、介護・障害者福祉サービス等への支援や飲食店等への支援などが盛り込まれています。

約444億円の令和2年度2月補正予算も計上

2月定例会では、13か月予算により切れ目なく事業を継続させるため、444億2,360万6千円の令和2年度2月補正予算を、これは急務を要するとして3月2日に議決しました。これにより、インフラ整備が年度で途切れず実施され、特に流域治水対策事業については3年度予算と補正予算合わせて280億3,950万円となり、調節池の整備や河道拡張などの治水対策が加速化して進められることになりました。

埼玉県議会 第124代議長に就任



この度、議員の皆様のご推挙により第124代議長の要職に就任させて頂きました。坂戸市から県議会議長への選出は初めてとなります。愛する郷土埼玉県のため、県民の皆さまが安心安全に暮らすことができるよう、その重責を果たして参ります。

埼玉県議会第124代議長 **木下 高志**

葛川と飯盛川の水害対策

令和3年度の事業計画について

国において「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が決定され、重点的に取り組むべき対策の一つとして、風水害等への対策をさらに加速化・深化することとされました。本県でも、令和元年東日本台風で甚大な被害が生じた河川を対象に、洪水時に水位上昇しやすい合流点などの計画規模を見直し、河川改修や貯留施設・排水機場の整備を進め、県土全体の強靱化に取り組んでまいります。

■葛川

調節池等の整備と併せて、新たに排水機場を整備へ

●(仮称)葛川排水機場(15m³/s) / (仮称)葛川調節池等

令和3年度事業：設計業務委託と地質調査業務委託を実施し、構造検討・配置検討を行う。

■飯盛川

調節池等の整備と併せて排水機場を増設へ

●飯盛川排水機場(現状7m³/s→系20m³/s) / (仮称)飯盛川調節池等

令和3年度事業：設計業務委託と地質調査業務委託を実施し、構造検討・配置検討を行う。



入間川緊急治水対策プロジェクト位置図

■放流先協議：上記設計業務に際して、放流先越辺川の管理者である荒川上流河川事務所と協議を行う。

副反応等の専門相談窓口

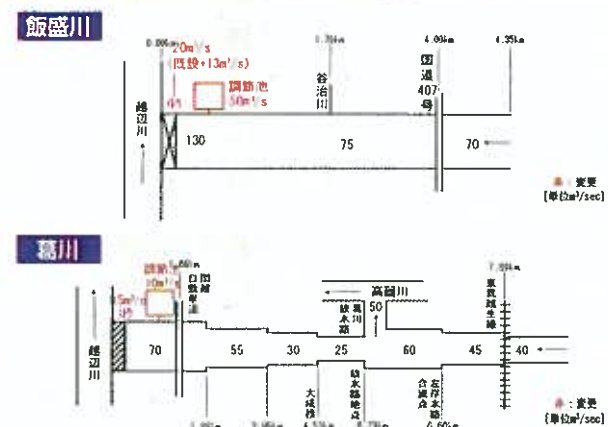
新型コロナのワクチン接種は医療従事者から始まり、4月からは高齢者(65歳以上)、その後基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、その他の方々へと順次行われる予定です。(地元の市町村から接種券が配布され、費用は国が負担するため無料です。)

県は副反応等に係る専門相談窓口を開設しました。専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。今後も県民の皆さまが安心して接種できる体制を整えてまいります。

■専門相談窓口：0570-033-226(ナビダイヤル)
※土日祝含む24時間対応

※接種券に関することや接種の方法等については、地元の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

飯盛川・葛川の流量配分図



役 職：埼玉県議会自由民主党議員団幹事長

所属委員会：議会運営委員会 / 産業労働企業委員会 / 少子・高齢福祉社会対策特別委員会 / 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

当初予算(一般会計)

令和3年度の主な新規事業を報告します

●新型コロナ感染症対策のさらなる強化

- 新**検査体制・医療提供体制を強化・確保……………**997億37.1万円**
 - 検査・医療提供体制の強化 ●軽症者療養体制の確保 ●クラスター対策 ●感染者のフォローアップ等
- 新**ワクチン接種体制の整備(専門相談窓口の設置等)**3億3,504.4万円**
- 新**新型コロナ感染拡大防止対策
 - 介護・障害者福祉サービス等への支援……………**18億9,240.3万円**
 - 飲食店等への支援(飲食店等が行う感染予防対策の費用を補助)……………**4億2,000万円**
 - 県立学校における感染防止(必要な教材器具等を整備)……………**1億9,896.3万円**
 - 警察活動における感染防止……………**1億2,862.9万円**

●既存資源を活用した観光基盤の構築

- 拡**沢沢栄一翁を軸とした観光振興……………**2,365.8万円**
 - 「埼玉三偉人検定」の実施 ●県内外における情報発信及び広域周遊の促進等
- 拡**民間事業者等と連携した広域観光を促進……………**2,369.2万円**
 - アニメを生かした魅力の発信と周遊の促進 ●近隣都県等と連携したプロモーションの実施等
- 拡**eスポーツ等を活用した観光振興……………**1,000万円**
 - Vtuberを活用した観光PRを実施等



●災害対策の重点取り組みと強化

- 新**流域治水対策を加速化……………**112億75万円**
 - 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策を軸に調整池の整備や河道の拡幅などの治水対策を推進(2月補正予算との合計=280億3,950万円)等
- 拡**整備水準を超える洪水等への対応……………**8億4,604.7万円**
 - 避難に役立つ情報の積極的な配信 ●水害リスク情報の充実 ●排水機場の耐水化・耐震化(2月補正予算との合計=9億2,204.7万円)等
- 拡**災害に備えた医療体制を強化……………**5,469.2万円**
 - 災害医療の連携体制の充実 ●在宅難病患者の災害発生前における避難目的による一時入院体制を整備等
- 新**家畜伝染病の防疫体制を強化……………**9,034.5万円**
 - 家畜衛生情報共有システム構築等により、防疫措置に必要な各種情報を集約 ●家畜保健衛生所の機能強化等

●活力を高める社会基盤の整備

- 新**直轄事業と連携した骨太の道づくり……………**43億5,287.1万円**
 - 現在事業中の直轄国道につながる県管理道路や地域高規格道路13路線16カ所の整備を実施(2月補正予算との合計=67億5,087.1万円)
- 拡**ミッシングリンクを解消し道路網の多重化を構築……………**40億9,147.7万円**
 - 幹線道路の未整備部分(ミッシングリンク)の解消を目指す(2月補正予算との合計=51億9,918.5万円)
- 拡**産業拠点を支えるインフラ整備……………**22億8,792.6万円**
 - 産業拠点へのアクセス道路等の整備を推進(2月補正予算との合計=34億6,792.6万円)

●地域経済を支え活性化を目指す

- 拡**県内経済を支える中小企業を支援……………**201億8,782.6万円**
 - BCP策定支援事業 ●プッシュ型事業承継集中支援事業 ●Withコロナ時代に対応した地場産業のチャレンジ支援事業 ●資金調達の円滑化支援(制度融資枠:6,500億円/セーフティネット系資金の融資要件を緩和)等
- 拡**県内企業の海外ビジネス展開を支援……………**1億419.5万円**
 - 中小企業海外販路開拓支援事業(越境eコマース活用を支援、海外ECサイトに県特設コーナーを開設)等
- 拡**農林業の生産基盤・販売力強化
 - 生産基盤の強化(高収益農業を実現するほ場整備実証事業)……………**4,000万円**
 - 農業の担い手育成(未来型農業教育環境整備事業)……………**1,323.5万円**
 - 持続可能な農業の確立(農業法人経営継続計画の策定支援、県産米競争力強化プロジェクトの推進等)……………**3,934.1万円**

●未来を拓く次世代を育成

- 拡**教育の情報化を推進……………**6億4,232.2万円**
 - 1人1台端末環境におけるICTの効果的な活用を支援(ICT支援員の配置等)
- 拡**自立と社会参加を目指す特別支援学校を整備……………**29億5,766.7万円**
- 拡**県立高校トイレ改修加速化事業……………**31億828.1万円**
 - 普通教室棟のトイレの洋式化率100%を1年前倒し令和5年度完了を目指す。

●デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- 新**警察業務を効率化し警察力を強化……………**2億9,473.3万円**
 - 捜査管理システムの構築やAI-OCR、RPA等を導入し、警察官約40人分の増員効果を実現
- 拡**行政のデジタルトランスフォーメーションを推進……………**8億7,012万円**
 - ペーパーレス化の推進 ●テレワーク環境の整備 ●Webデータベースの構築 ●DX計画実行事業等
- 新**業務効率化のためのデジタル基盤を整備……………**12億5,609万円**
 - 業務基幹システムの設計 ●次期県庁LANの設計と地域機関の無線LAN化等
- 新**i-Constructionを推進……………**4億5,918万円**
 - 県が管理する道路や河川を対象とした3D測量を実施し、3Dデータを活用した取り組みを推進する
- 拡**中小企業・小規模事業者のデジタル化を支援……………**2億8,795.2万円**
 - DX推進員を設置 ●オンライン活用型ビジネスマッチングを支援 ●オンラインを活用した海外販路開拓を支援 ●サービス産業におけるDXの促進を支援等

●水とみどりを守り育む持続可能な未来へ

- 新**Next川の再生を推進……………**11億1,507.7万円**
 - 民間のアイデアやノウハウを生かした水辺空間の利活用を促進する
- 新**農業用水の水辺周辺を活用……………**5億879.3万円**
 - 農業用水路における環境配慮護岸、遊歩道の整備等
- 拡**プラスチックの循環利用や食品ロス削減の取り組みを推進……………**1,397.6万円**
 - プラスチックの持続可能な利用モデルを促進(産官民が連携し、出口戦略を見据えた循環モデルの構築に向けコンソーシアムを結成)等

●暮らしを守る安心安全への取り組み

- 拡**ケアラーやヤングケアラーへの支援……………**1億8,817万円**
 - 「ケアラー月間」の創設と支援フォーラムの開催 ●ケアラー入院時の要介護者受け入れ施設を運営 ●認知症の人と家族を支える「チームオレンジ」の構築を支援 ●市町村の基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備を促進 ●理解促進のための出張授業を実施等
- 拡**児童虐待防止対策を強化……………**9億5,508.2万円**
 - 児童虐待相談対応を強化(SNSを活用した相談窓口を開設) ●児童相談所・一時保護所の整備等
- 拡**生活困窮者や生活保護受給者等に対する支援……………**4億4,257.4万円**
 - ICTと専門職の活用による自立支援促進事業 ●生活困窮者自立相談支援事業 ●住居確保給付金 ●学習支援事業 ●生活保護受給者チャレンジ支援事業 ●地域再犯防止推進事業等



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 岩崎宏 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地優 荒木裕介 新井豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕(以上50名)



県議団役員と大野知事と共に坂本大臣に要望書を提出

保育士等の処遇改善のため、坂本少子化大臣に、公定価格改善の要望を行いました!

埼玉県の保育士給与は、関東近隣都県と比較して低い状況にあり、その最大の原因が人件費の原資となる公定価格(保育所運営費収入)が不当に低いことにあります。また、国家公務員の地域手当の区分に準拠した公定価格を国が定めていることは、地価等が反映されていなく実態に即していません。

そこで、隣接する地域で大きな公定価格の差が生じないよう、地域区分の設定方法の見直し等により、地域間格差を是正することを、坂本少子化担当大臣に要望致しました。要望に当たっては、山口代議士、三林副大臣、大野知事にも同席頂き、大野知事には埼玉県の現状説明を行って頂きました。坂本大臣からは、改善に向けた前向きな回答を頂きました。

謹賀新年

皆様に於かれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本県に於いても新型コロナウイルス感染症が二月から確認され、以後感染症対策に追われた一年でありました。県議会に於いても、補正予算を異例の十一度審議することで、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を行うため、自民党県議団の提案で、「新型コロナウイルス

ル感染症対策特別委員会」を県議会で立ち上げ、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を取りまとめ、知事に提出致しました。現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。

この他にも、主な取り組みを紹介致します。昨年二月定例県議会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県ケアラー支援条例」が施行され、家族介護に従事している方々を支援する施策が始まりました。この条例は、全国初で制定・施行され、全国的にも県議会への視察など、注目を頂いております。特に、十八歳未満のヤングケアラー

の実態調査が県で行われ、家族介護に従事するヤングケアラーの児童・生徒達を把握することで、今後の個別対策が推進されるものと期待しています。

また、かねてより埼玉県の懸案事項でありました、保育士等の処遇改善に関わる公定価格の改善に向け、県議団として国に要望を行いました。これは、国が定める公定価格の基準が、首都圏で埼玉県のみ基準割合が低く設定されているもので、早期の改善を求めたものであります。要望実現により、保育士等の給与水準が上がり、保育士不足の是正に繋がるものであります。

今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みむことで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様からの自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小島 信昭

コロナ対策に全力投球!

埼玉県議会自由民主党議員団 「コロナウイルス感染症対策本部報告!」

埼玉県議会自由民主党議員団では、埼玉県の新型コロナウイルス感染症対策について、県民の安全と安心に繋がる緊急対策が重要であるとの観点から、県議団内に昨年4月の緊急事態宣言発令後すぐに、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、取り組みを進めて参りました。

県民の皆様や医療従事者、エッセンシャル・ワーカーの方々等から寄せられた要望等を県執行部に具体的かつ迅速な対策を求めるなど、対策本部にて取りまとめました施策の推進を図って参りました。特に、時限的な専用医療施設の整備を行う要望については、予算措置が取られ、現在、医療機関のご協力を頂きながら整備が進められているところです。



大野知事に新型コロナウイルス感染症対策の緊急要望を行う県議団対策本部



厚労省の担当によるコロナ勉強会の様子

また、緊急事態宣言中の県の対応等を検証し、今後の県のコロナ施策に活かす必要性から、埼玉県議会に「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の設置を提案し設置致しました。県議団に於ける審議を通して「意見・提言」を取りまとめ、知事に提出致しました。

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和二年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和三年度政策大綱(合計336項目)」及び「令和三年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望197項目・議員要望41項目)」を大野知事に提出し、令和三年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

令和三年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再興に向けた対策や災害に強い県土づくりなどが不可欠であります。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、検討させていただきたいと前向きな返答がありました。

県迷惑防止改正条例を可決



県議団迷惑行為防止プロジェクト・チームでの審議の様子

近年、スマートフォンの急速な普及、撮影機器の高機能化、小型化に伴い、盗撮行為が社会的問題となっています。盗撮された画像データ等は、半永久的に記録され、インターネット上に流出する恐れや個人が特定されケースも少なくありません。

そこで、自民党県議団では、悪質な盗撮行為等の規制を強化することで、県民生活の平穏を図ることを目指し、プロジェクトチームを組織し、盗撮行為の規制場所、規制行為、罰則等を強化する「埼玉県迷惑防止条例の一部を改正する条例案」の制定に向け取り組んで参りました。

十二月定例県議会で自民党県議団が議員政策条例として提案し、可決・成立致しました。本年四月一日施行となります。

県政を身近に!

埼玉県議会議員 木下たかし

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所: 埼玉県坂戸市日の出町10-2 早川ビル2F

電話: 049-282-1000

FAX: 049-282-1010

ホームページ: <http://kaikakukitai.com>



知っとく、なっとく 埼玉県政

埼玉県議会議員 木下博信が、
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

第 **16** 号 2020
Nov

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団
木下博信政務活動事務所
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

《連載》ここは変えたい県議会 地元に住まずに議員活動？

- ・ どうして遅れた県のコロナ対策
- ・ インフルエンザ流行期に備えて

埼玉県議会議員

木下博信

県政レポート

きのした

ひろのぶ

新型コロナウイルス関連の経過

コロナ対策の立ち上がりが遅かった埼玉県

今年3月から急速に感染が広がった新型コロナウイルス。当初、東京都に比べ、様々な独自対策が後手に回っているとの指摘を受けました。その原因は多岐にわたりますが、一番大きかったのは、財政調整基金が少なかつたことです。

財政調整基金とは、災害や不測の事態に備えている貯金のようなものです。休業補償やコロナ休業への対策など、何をするにも事業費が必要なのですが、埼玉県は3月の時点で貯金に当たる財政調整基金の残高が、46億円ほどしかありませんでした。

東京は9千300億円の貯金があったので迅速に対応できました。しかし埼玉は、46億円を何かで補充しなければなりません。そのお金をどこから捻出するのか、が問題でした。最終的に、



企業会計（下水道事業など、企業としての会計処理をしている公営会社）から100億円を借りてお金を用意することにしましたが、通常の手法ではないため、その決断に時間がかかったのです。

この財政調整基金の少なさは、自民党県議団が毎年予算特別委員会で見直しを求め、改善される前に危機が訪れてしまいました。

議会の統一対応

我々議員の元へは、現場での問題や課題が多数届いています。すぐにも解決したいところですが、93人の議員がそれぞれ直接現場とやりとりしてしまつては、混乱している現場をさらに混乱させてしまいます。

そのため埼玉県議会は、災害時と同様に、毎日それらを議長が取りまとめ、整理して知事に伝えるという仕組みで対応してきました。もちろん、ただ伝えるだけではなく、解決できる方法や改善策を議員どうして議論し、提案に加えています。

通常、議会がない時の県庁執務は週1〜2回ですが、4月以降、午前中は草加市で、午後からは県庁で課

題の対応に当たる、という日々が続いています。

本年は、2月定例議会から、ずっと議会が開催されているという感覚です。

対策特別委員会を設置

第一波が一定の収束の方向にあった6月定例議会の中で、新型コロナウイルス対策感染症対策特別委員会を設置しました。それまでの対応の検証とその反省を含めた今後のあり方について議論をするためです。この特別委員会は、定例議会閉会中も継続して審議・提言を行っています。

このように、現場の課題を整理し討議してきた結果、県の予算は前例にない事態となっております。

埼玉県今年の当初予算は1兆9千603億円でしたが、国からの交付金等を活用し、9回に渡って事業を追加するための補正予算を組んだことで、現在は、2兆3千84億円に至っています。当初より3千500億円もの増額です。

こうして少しずつ前進してきているものの、新型コロナウイルスに起因する状況のすべてには、対応し切れてい



せん。今後も、県議団の仲間と力を合わせ、問題解決に向けて努力していきます。

文教委員長として

今年の3月定例議会の最終日、令和2年度の文教委員会委員長に選任されました。

本来なら、より良い教育の実現のために力を注ぐべき立場です。しかし、本年度はコロナ休校状態からのスタートで、例年とは状況が全く違いました。

休校が突然であったことから現場の混乱は激しく、それを少なく抑えるのが最初の仕事でした。市内の校長や保護者の方から課題を直接聞かせていただき、教育事務所の副所長から地域の小中学校全体の状況を聞き、混乱させる要因を減らす方策を県教育長に提案しました。

さらにオンライン授業が可能な体制の早期構築や、授業時間の確保と健全な学校生活のバランスをとる方策など、現場からの視点を伝え続けています。

一斉休校という前代未聞の事態が生じた令和2年。まだまだ課題は山積していますが、草加の、埼玉の子どもたちが、未曾有のコロナ禍を乗り越えていける環境を創り出していきます。

変化の激しい状況でお伝えすることの難しさ

新型コロナウイルスの感染拡大の中で、適切な情報を迅速に伝えることの難しさを痛感しました。市民の皆さんが必要とする情報を、迅速に的確に、お届けできなかったからです。

これまでも、阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災など、大災害の現場では、必要な情報が、必要とする被災者に届かない、という問題が発生していました。今回の新型コロナウイルスの感染拡大も、まったく同じ状況でした。特に緊急事態宣言中の、4月中旬から5月の連休明けまでの時期、必要な情報がどこにあるのかを見つけるのは大変難しく、制度があることすら気がつけない方々がたくさんいらっしゃいました。

休校で出勤が難しくなった保護者への休業支援、生活困窮支援、自営業の方への休業

真つ先にお伝えしたいことでした。企業への融資、陽性の場合の宿泊施設PCR検査の拡充状況、各種相談窓口など、他にもたくさんあります。こうした

4月22日付で各情報をまとめてお知らせした資料

埼玉県・草加市 新型コロナウイルス感染症対策	埼玉県・草加市 新型コロナウイルス感染症対策	埼玉県・草加市 新型コロナウイルス感染症対策
<p>一般家庭向け相談窓口のご案内</p> <p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>	<p>事業者・個人事業主向け相談窓口のご案内</p> <p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>

最大の混乱期に、整理された適切な情報をお届けできなかったことが残念でなりません。そして力不足を詫び申し上げます。この経験と反省を活かし、災害時に「わかりやすく整理した情報を、迅速に提供できる仕組みづくり」を進めていきます。

4月28日時点で、状況別に利用できる制度と問い合わせ先を整理した特別版

事業者・個人事業主向け	一般家庭向け	生活困窮者向け
<p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>	<p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>	<p>埼玉県 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p> <p>草加市 新型コロナウイルス感染症対策センター 電話：048-825-1111</p>

その14 ここは変えたい県議会 議員は地元に住んで活動を!

産経新聞と週刊文春での指摘

コロナ禍中の6月、一人の県議会議員が辞職しました。産経新聞と週刊文春で、居住地が選挙区ではないと指摘され、所属会派が調査を始めた直後に、文春の続報で不倫疑惑が報道され、本人から辞職願いが議長に提出されたのです。

フェイスブック（インターネット）での本人の発信は、「議員以前に、人としてやってはいけないこと（不倫）をしてしまったので辞職します」という発表でした。

居住実態なしで辞任？ 不倫で辞任？

公職選挙法では、立候補の3ヶ月前以上前から居住していなければ立候補できないという規定があります。議会としても放置できる内容ではありません。しかし、コロナ禍中でもあり、不適切な行動をしている議員のために調査特別委員会を設置して貴重な時間を割いていくことは、二重に県民に対して迷惑をかけてしまうこととなります。そこで、まずは当該会派の自主的な調査結果を待つ、としていた中で辞職願いです。

県内居住という議員としての資格があるかどうかは確認できないまま、不倫をしていたので辞職、という本人の説明だけが残されました。

知事や市長は、組織の執行責任者という側面が重視されるので、どこに居住していても立候補でき、就任もできます。一方で議員は、住民の代表として執行をチェックし、代弁者として提案をする仕事ですから、住民であることが条件です。それをないがしろにしてはいけません。

辞職した議員は、会派の調査で政務活動費の不適切支出も指摘され、修正し返金をしましたが、こういう議員を生まないよう、議会全体で襟を正していく必要性を痛感しています。

インフルエンザの流行期に備えて

診療・検査医療機関指定の促進

事業費約6億円

風邪かインフルエンザか新型コロナかを判別するため、**新型コロナとインフルエンザ両方の診療・検査を行う「診療・検査医療機関」が指定**されます。県内1200の機関となる予定。

県医師会が医療機関に登録を推進している最中で、現段階で「どこ」と掲載はできませんが、下記の方法で受診機関を確認・予約しての受診をお願いいたします。

インフルエンザワクチン接種への補助

事業費約21億円

新型コロナとインフルエンザの同時流行による混乱を防ぐため、重症化リスクの高い方のインフルエンザワクチン接種が無償化されます。

無償化の対象は

- ・65才以上の方
- ・60~64才で心臓、腎臓、呼吸器の疾患があり、日常生活に極度の制限がある方などです。

発熱時の利用の仕方

最寄りの診療・検査医療機関の受付日時を確認

希望する診療・検査医療機関に連絡し受診の予約

予約した診療・検査医療機関で受診

医師の判断で、必要に応じて
新型コロナ感染症やインフルエンザの検査を実施

埼玉県のホームページで

もしくは

受診・相談センターへ電話 (048-762-8026)

濃厚接触の可能性のある方の行政検査も、これまで通り行われます。

医師が必要と判断して行うPCR検査は公費負担（無料）となります。

コロナ環境で始発終電駅端懇談会を見合わせています

前号でお伝えしたように、3月議会の終了後から、始発終電駅端懇談の実施を予定していました。

しかし、新型コロナ感染が拡大するなかで、20時間駅頭で不特定多数の方々と懇談するのは、リスクが高いため、実施を見合わせています。

現場でしかわからない課題のご指摘、お困りごとの相談などを通して、多くのことに気づき、学ばせていただいている始発終電駅端懇談です。

状況を踏まえながら、できるだけ早い時期の再開を目指してまいります。

事務所への訪問・相談も歓迎です。

駅端懇談だけでなく、事務所での相談も随時させていただきます。平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は県庁はじめ各地で活動しており、事務所には不在なことも多いので、事前にご連絡いただいてからお越しいただけるとありがたいです。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団 政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52

Tel : 048-924-8011 Fax : 048-922-9645

e-mail h_kino@icloud.com

木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、春日部高を経て、慶応義塾大学法学部政治学科卒。

平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4月より県議会議員。

2001年バリダカールラリーを二輪で完走。

2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。

知っとく、なっとく 埼玉県政

第17号 2021
Mar

埼玉県議会議員 木下博信が、
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団
木下博信政務活動事務所
〒340-0017 草加市吉町 5-9-52
TEL 048-924-8011 / FAX 048-922-9645

ここが変わった県議会

本会議、誰が聞いてもわかる方式に

- ・ 新年度予算 コロナで大幅増
- ・ エスカレーターの安全利用を

埼玉県議会議員

木下博信

県政レポート

きのした

ひろのぶ

令和3年度予算 2兆1198億円

新型コロナ対応で 1600億円増

埼玉県の新年度予算は2兆1198億円。昨年の予算より1600億円も増額しています。

増額の理由は、医療体制の強化、検査体制の充実、クラスター対策、相談窓口、ワクチン接種、感染防止対策など。コロナ関連が多くを占めます。

この増額分の予算は、主に臨時財政対策債などの借入を1100億円増やし、財政調整基金519億円を取り崩してまかっています。

コロナ関連で実施している事業の経費は、1千億円を超えるとともに、多種多様な支援策があるため、この紙面では全てお伝えすることができません。

参考となる情報を集約したインターネットページのQRコードを、最終面に掲載させていただきます。

予算特別委員会

およそ2兆円という、莫大な金額になる埼玉県の年間予算の使い道は、93名の議員の中から選ばれた32



名の委員による予算特別委員会で、集中審議することになっています。

令和3年度予算を審議する予算特別委員会。自民党議員団からは17人の委員が選任され、私もその中の一人として予算審議に参加しました。

私は文教委員長も拝命していますので、教育についてを中心に質問しました。結果として、全委員の中でもっとも長い115分間の質疑時間をいただき、新年度予算の問題点執行時の注意点などを、提案・確認することができました。

のではなく、それによって危険な状態になる「歩いては利用できない方の立場を守る」のが社会的責任。という観点から、条例を提案することに決定しました。

市民の皆さんに広くお伝えし、混乱なくスタートさせるために、今年の10月1日から適用になります。

市民の皆さんの中にも、県議団の議論と同様、さまざまな意見があることかと思えます。従わない場合の罰則等も設けていません。ですが、誰もが安心して暮らせる社会にしていきたいため、ひいてはお互いの立場を理解し合える優しい社会をつくりだすために、草加市の皆さんにもご理解ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。



県土整備委員長について

令和2年度の1年間は、文教委員会委員長を務めました。令和3年度は新たに県土整備委員会委員長を務めることになりました。

子供たちを健やかに育てることと同様に、県土整備の仕事も、皆さんの暮らしを支える大切な仕事です。

現場の仕事が、よりスムーズに、そしてより多く実施できるよう、その任務を果たしていきます。

一括質問(まとめて聞いてから)

これまで、埼玉県議会の本会議における質疑応答は、質問側がまとめて30分質問(問題点の指摘、新たな提案)をし、知事や部長が順番に約30分答える、というものでした。

一括して聞いて、一括して答える、というこの形式は、質問ごとに出たり入ったりする時間が短縮できました。しかし、どの質問に答えているのかが、非常にわかりにくいという問題がありました。

質問が6項目あった場合、知事が1と2と4に答え、その後、教育長が2と3と6、総務部長が1と2と6に答える、というように、質問に対する回答が混在していました。もちろん議場において集中しなければわかりません。

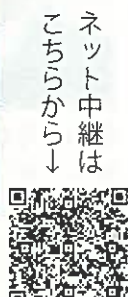
しかし、県政に興味を持ってネット中継を見始めた方には、一方通行で単調な話が続いているだけで、どう答えているのかもわかりにくく、継続して見る気を失ってしまうことが予想されます。

一問一答(1項目づつ)

これは国会も同じで、テレビ番組では分かりやすくするために、質問と答弁をつなげて、一つの質問にすぐに答えているようにして



新たに始まった一問一答式の質問席で発言する宇田川議員(八潮市選出)



教職員の不祥事根絶へ

教職員の不祥事。埼玉県でもゼロではありません。事案の処分確定時に報道発表をします。新聞等でもその内容を目にされた方も多いでしょう。どのような職種でも違法行為をしてはなりません。特に教職員の、生徒に対する不適切行為は、絶対にあってはなりません。

昨年、文教委員長就任以来、宇田川副委員長と共に、教育局幹部と意見交換を重ね、どうすれば根絶できるか、考え続けてきました。

そのうえで、教育局が、今までにない新たな不祥事根絶研修プログラムを作りました。昨年4月に就任した教育長を先頭に、本気で根絶を目指して作成したことが伝わってくる内容です。

このプログラムを活かし、生徒に対する不適切事案ゼロを、埼玉県内で必ず実現できるよう、支援していきます。

不祥事防止研修プログラムの詳細が掲載されています。



その1 ここが変わった県議会 本会議がわかりやすい形に

放映しています。このわかりにくさを解消するため、本会議での質問を、一つ聞いてらすぐに答え、また質問する、という形式に変更しました。結果として、議論がわかりやすくなっただけでなく、一つ一つの問題を深く掘り下げ、議会からの提案や問題点の指摘が活かされやすくなりました。何を議論しているのかが、今までもより格段にわかりやすくなりましたので、ぜひ、新たな形式での本会議の議論をネット中継でご覧になってください(従来通り一括で質問することも認められていますので、その違いがわかりやすいと思います)。

新型コロナに関わる支援、相談について

国内で感染が広がり始めてから、丸1年が経ちました。生活に重大な影響が出ている方は、**何らかの支援制度を受けられる可能性があります**ので、下記相談窓口にご連絡ください。

完全な制度ではありませんが、改善を続けていますので、ぜひご確認ください。

生活困窮などの相談窓口

まるごとサポート草加 ☎048-922-0185 (事前予約制)

支援策を紹介するホームページ

新型コロナに関連する支援・対応一覧 (草加市役所)

感染しない暮らし、発熱時の対応などの後に、各種支援策の案内があります。



事業者の方への支援策 (埼玉県庁)

宣言下での時短協力金の申請書も、このページからリンクしています。



ワクチン接種は4月26日以降

国全体のワクチン確保が、予定より遅れています。埼玉県から草加市に配分されるのは、4月26日(月)からの週からとなる予定です。

当初は65歳以上の方(6万人)が対象ですが、初回は475人分です。

4月中に順次、草加市から接種券が郵送される予定ですので、そのご案内をお待ちください。

草加市ワクチンコールセンター
☎0570-666-578

草加市のワクチン接種案内ページはこちら→



えきはた こんだん

始発終電駅端懇談 早期再開を目指します

緊急事態宣言の延長が続くなど、まだまだ外出自粛や、日常的に会う方以外との対面接触回避が求められている状況です。

駅頭で多くの方にお会いし、様々なお話、ご意見をお伺いしたいのですが、事業者の皆さんをはじめ、多くの皆さんが地域活動も見合わせてらっしゃる状況を考え

ると、自分の活動だけを例外とすることはできません。皆さんが、地域で集い、暮らしを取り戻す日が一日でも早く訪れるよう、引き続き始発終電駅端懇談を控え、県庁での課題解決への討議、提案、調整の活動を中心に進めていきます。



事務所への訪問・相談も歓迎です

政務活動事務所での相談も、させていただきます。平日の10時から16時半までの時間帯になりますが、何かございましたら、お気軽にご相談ください。

私は、事務所に不在なことも多いので、事前にご連絡のうえ、お越しいただけると助かります。

埼玉県議会議員 **木下博信** 自由民主党議員団 政務活動事務所

〒340-0017 草加市吉町 5-9-52

Tel : 048-924-8011 Fax : 048-922-9645

e-mail h_kino@icloud.com

木下博信 Profile



昭和39年(1964年)生まれ。氷川幼稚園、高砂小、瀬崎中、春日部高を経て、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。

平成5年(1993年)草加市議会議員初当選。

以後、市議を8年、市長を9年勤め、平成27年(2015年)4月より県議会議員。2001年パリダカールラリーを二輪で完走。2018年アイアンマン(226kmトライアスロン)完走。



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 岩崎 宏 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 杉島理一郎 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺 大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎(以上50名)



提案者として県議団本会議で提案説明を行う

埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例を全部改正しました!

当条例は、生活保護費を受給する被保護者等から不当な利益を上げる、いわゆる「貧困ビジネス」への対策として事業者の業務の適正な運営を確保し、被保護者等の処遇を改善するとともに、その自立の支援を図ることを目的に、平成二十五年に全国に先駆けて自民党県議団の提案により制定致しました。

この度、国は貧困ビジネスの規制を強化するため、社会福祉法を改正し、国の定めた基準を基に都道府県が条例を定めることとしました。これを受け、全国に先駆けて制定した条例の中に、国の基準を定めるため、条例の全部改正を提案し、可決・成立致しました。

謹賀新年

皆様に於かれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の統一地方選挙・埼玉県議会議員選挙では、我が党公認・推薦候補に対し、格別のご支援を頂戴し、心から感謝申し上げます。お陰様で県議会の最大党派として新たな気持ちでスタートを切ることが出来ました。これから、県議会最大派の責任のもと、県民の負託に応えるべく、県民ニーズを的確に捉え、県政をリードして参ります。



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小島 信昭

令和の時代となり、県政も知事が代わる等、大きな変革期を迎えています。また昨年は、台風十九号による県内の甚大な被災、CSF(豚コレラ)の県内発生など、危機管理の強化を求められる状況が多くみられる年でした。昨年十二月定例会では、復旧・復興に向けた補正予算を可決する等、自民党県議団は県内被害の早急な復興・復旧を目指すなど、取り組みを進めて参りました。一日も早い復旧・復興を実現するとともに、更なる危機管理体制の強化や県土強靱化に向けた施策を推進して参ります。

今年度も、県民の安全安心、生活利便性の向上に向け、議員提出条例に取り組んでおります。十二月定例会では、「埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例」の全部改正案を自民党議員団にて提案し、可決・成立致しました。これは、いわゆる貧困ビジネスへの対策として、全国に先駆けて平成二十五年に議員提案にて制定したものを、国が規制強化をするために定めた基準を基に改正したものであります。また、二月定例会提案に向け、ケアラー支援条例と受動喫煙防止条例の検討も行ってまいります。

今後、時代の変化に対応できる政策を立案することで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

議員政策条例制定へ!

パブリック・コメント募集!

自民党県議団では、安全・安心の強化、県民生活の向上等を目指し、これまで議員政策条例の取り組みを推進してきました。現在、「県ケアラ―支援条例」及び「県受動喫煙防止条例」の提案に向け、各条例のプロジェクト・チームを作り、協議・検討を行っております。

この度、条例制定に向けた骨子案を左記ホームページにて公表させて頂き、広く県民のご意見・情報等を募集します。募集期間は、十二月二十五日から一月二十四日までの予定となります。皆様のご意見・ご協力をお願い申し上げます。



■県ケアラ―支援条例

無償で継続的に家族等の介護に従事している(ケアラ―と定義)の方々が、健康で文化的な生活を営むことができる社会を実現することを目的とした「埼玉県ケアラ―支援条例」の制定を目指しています。特に、十八歳未満のヤングケアラ―の支援として、心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られ、かつ適切な教育機会の確保等の施策を推進します。

■県受動喫煙防止条例

二〇一八年七月に健康増進法の一部を改正する法律が成立し、本年四月一日より全面施行されます。自民党県議団では、受動喫煙による健康への悪影響から県民を保護する環境を整備することにより、望まない受動喫煙を生じさせることのない社会を実現することを目的とした検討を行って参りました。法律ではカバー出来ない範囲も規制対象としています。



自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ

www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和二年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を提出!



奥野副知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

埼玉県議会自由民主党議員団では、来年度予算編成に於ける主要な施策を求め「政策大綱」と、県内各市町村より要望を頂いた「市町村要望」を奥野副知事に提出致しました。

新元号である「令和」の新しい時代の幕開けと共に、埼玉県政に於いても新たな時代に相応しい政策を定める必要があります。その中でも最も優先すべきは、県民の安全安心対策であることから、首都直下地震や台風、豪雨による水害など様々なリスク・脅威に対応する為に、強靱な県土の構築を中心に要望を行いました。県に対し、政策大綱281項目、市町村要望195項目、議員要望43項目の提言・提案を行いました。

台風十九号被災箇所を視察



県議団にて台風19号による越辺川氾濫・決壊箇所を視察

自民党県議団では、県内に甚大な被害を生じさせた台風十九号における被災状況を調査すべく、被災現場の視察を行いました。この視察には、知事をはじめ県執行部も参加致しました。

今回は、越辺川決壊箇所及び越辺川、高麗川、葛川が合流する坂戸市新ヶ谷地区、東松山市の都幾川「くらかけ清流の郷」を視察致しました。国土交通省及び県土整備事務所、各自治体、被災住民より、詳細な説明を受けました。越辺川は氾濫危険水位に達していたにも関わらず、大谷川排水機場と飯盛川排水機場のポンプが停止していません。被災状況を伺い、早期の復旧・復興が実現出来るよう取り組みを強化しました。

安心・快適な暮らしを創る

埼玉県議会議員 木下博信

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県草加市吉町5-9-52
電話：048-924-8011
FAX：048-922-9645



県政報告

愛する郷土を良くしたい。

埼玉県議会議員

きら英敏

新型コロナウイルス対策

緊急事態宣言を踏まえ 4月8日に自民党県議団として対策本部を設置しました。県が一丸となり一日も早く収束させるため医療と経済対策を中心に全力で取り組んで参ります。また今回の新型コロナウイルス危機を踏まえ、在宅での医療や教育の環境の整備、在宅で円滑に仕事ができるテレワークやサテライトオフィスなどの整備も進めています。



自民党

★子どもたちの豊かな環境をつくる★

寺子屋きらきら☆学童

コロナウイルスの影響による突然の学校休校に伴い、地域の親御さんからのご要望にお答えして休校初期の3月上旬には「寺子屋きらきら☆学童」を開催。地域の方々と春休み中の大学生に協力してもらい、学習指導やアートの授業はじめ様々なレクリエーションにも取り組みました。

※医療関係者にもおいで頂き衛生面を徹底しながら取り組みました。近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。今後も多様で豊かな地域の学び場と居場所づくりに取り組んで参ります。



きらきら杯☆郷土かるた大会も開催

寺子屋きらきら☆こども塾

私はお坊さんです。寺子屋の歴史を持つ自宅のお寺を活用し、4年前から本格的に「寺子屋きらきら☆こども塾」を夏休みに開催しています。これは、地域の人々が、地域の子どもたちを育む、地域の教育拠点づくり。基本理念は「あらゆる恵みに感謝できる人になること」今年もコロナウイルスの影響もあるのでオンライン授業も企画中です。



インターン学生による授業の様子

企画財政常任委員会委員長に就任

令和2年4月より企画財政常任委員会の委員長を務めております。全会計3兆円を超す埼玉県全体の財政と施策の方向性について審査する、まさに県の中核をなす委員会です。



委員会質疑中の模様

少子高齢福祉社会対策特別委員会 副委員長に就任

埼玉県の最大の課題でもある少子高齢化に対し副委員長として取り組んで参ります。

きら事務所インターン学生報告

政策コンテスト全国9位!

きら事務所では大学生を中心とした若者が政策作りから地域活動まで共に取り組んでいます。今年3月には、きら事務所に所属するインターン大学生「チーム☆きらきら」が政策コンテストに出場。「LEGOブロック政策」で見事地方予選を勝ち抜き全国9位となりました。人材育成をテーマに様々な地域活動にも取り組みました。



令和2年度に完成するもの(一部抜粋)

令和2年度は以下のような事業のほか、県営権現堂2号公園も完成するなど様々な県の事業が花開く年となります。今後は東武動物公園東口駅前通り、圏央道の側道の接続整備、東埼玉道路の延伸、新たな企業や産業の集積計画など私たちの生活と地域がより良くなるよう取り組んで参ります。

① 水害対策施設

私の最大の目標である地元地域の水害対策。県では中川に流量調整施設の建設工事を平成30年12月より進めて参りました。完成すると幸手市、杉戸町の中川周辺の豪雨による被害は3割削減されることになります。



② 古利根川の水辺空間の整備

私たちの暮らしのすぐ近くには水辺があります。この魅力あふれる水辺の環境とまちづくりを結びつけるプロジェクトが「埼玉県川の国プロジェクト」です。埼玉県は、流灯まつり等でも賑わう古利根川古川橋周辺に、親水テラスや散策路など水辺との素敵な憩いの場をつくっています。



③ 新しい県道「幸手境線バイパス」と「令和橋」

茨城県五霞町中心部から幸手市中心部にかけて新たな県道「幸手境線バイパス」が完成いたします。中川にかかる新しい橋は、市民の皆さんの応募の中から「令和橋」と名付けられました。



後援会視察研修

昨年の台風19号の影響でその効果を発揮したと言われる八ッ場ダムを今年2月に視察しました。今後は、県施設では最大級と言われている幸手放水路(幸手市西関宿)や、三郷市に100億円かけて建設された埼玉県バイオマス発電所を地域の皆様と見学する企画も検討中です!!



LINE 始めます!! ぜひご登録を!

QRコードで 友だち追加

またはLINE IDで 「@221hzwup」と検索

全国初! 「埼玉県ケアラー支援条例」 全会一致で成立!!



提案者代表として

条例プロジェクトチーム立ち上げの頃、同僚議員からは「ケアラーとは何ですか?」という質問をされました。それくらいケアラーという言葉は認知されていません。一方で、埼玉県は全国でも高い高齢化率や、核家族化した中で、介護の負担が大きな問題となっております。また県内には高齢者介護だけでなく、医療的ケア児、高次脳機能障害はじめ、切実な介護現場が沢山あります。

地元で開催したパパママ集会での障害のお子さんをもつママさんの言葉が忘れられません。「助けてください。」ただそれだけでした。この条例は、そういった声に答えるものです。介護で自分を見失わないように、孤立することがないように、誰もが安心して介護できる社会を目指します。

「介護」という言葉は、一般的に高齢者介護というイメージが強いですが、実際は障害や病気など様々な介護があり、その年齢も様々です。

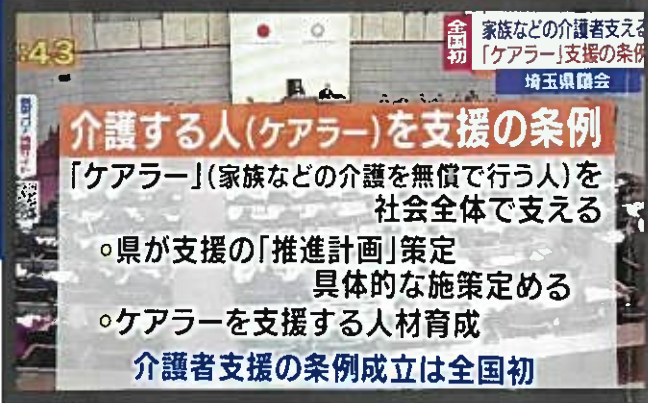
また、介護する側も子どもや若者が介護する「ヤングケアラー」も少なくありません。

「ケアラー」という新しい言葉を使うことで、従来の介護のイメージや認識を変えたいと思っています。本会議最終日に関係団体の方々

新たな福祉社会の一步を
埼玉から踏み出し
安心して介護が出来る
社会にしていきます!



このケアラー支援には、県のほとんどの部局が関係しているのに、縦割り行政の仕組みで支援できるものではありません。この条例により、縦割り行政に横ぐしを刺し、本当に支援を必要としている現場と向き合い、こぼれ落ちないようにしなければならぬ、ということです。介護する家庭やケアラーをかわいそうだと済ましたり、気の毒だと思わない社会にしたい。本条例が、日本初のケアラー支援条例となります。



NHK 全国放映

条例成立までの流れ

- 地元のパパママ集会で介護者支援の要望を頂く (平成30年)

地元で開催した子育て
パパママ集会→



- プロジェクトチームの立ち上げ(令和元年6月)

議事室内にて→



- オーストラリアのケアラー支援の現場視察や県内の認知症支援サロン及び、医療的ケア児のママさんのお宅を訪問



- 原案が完成し、パブリックコメントにて全国から切実な要望を沢山頂く

NHK 全国放映→

- 令和元年12月東京にてシンポジウムの講師を務める

全国の介護者支援シンポジウムにて講演

(東京都中野区)→



- 2月定例会本会議にて提案者を代表して条例の提案説明



- 3月6日福祉保健常任委員会にて説明

- 3月27日 本会議にて可決成立

↑読売新聞

ケアラー条例って何? ケアラーって何?



ケアラー

仕事ではなく、家族などを生活の中で介護している人

ヤングケアラー

ケアラーのうち18歳未満の子どもや若い世代の人

目的 **誰もが安心して介護ができる社会にすること**

- 1 支援を必要としている人を早期発見 → 地域、職場、学校など
- 2 支援を必要としている人を確実に支援 → 市町村での窓口をつくる
- 3 支援を受けられない人がいないように → 新しい支援体制をつくる

何が変わるの? ~支援のイメージ~

例えば 小学生Aちゃんがヤングケアラーだった場合

ケアラー支援研修を受けた学校の担任の先生は、支援マニュアルに従い調査すると、Aちゃんがおじいちゃんのお世話で大変なことがわかりました。条例で新しく創設された地域のサロンで相談員がAちゃんからヒアリングすると、疲れ切って勉強がおろそかになり生活が乱れていることがわかりました。家族と関係者が話し合い、地域包括支援センターと連携しながら負担のない介護環境へと改善できました。



※毎日新聞社の調査によるとヤングケアラーは少なくとも全国に3万7,100人おり、早期発見、早期支援の体制が求められています。これは、国連の「子ども権利条約」にも関わる大切なもので、今回の条例成立は英文記事にもなり海外からも注目されています。

例えば 医療的ケアが必要な子をもつママBさんの場合

育児と介護と家事すべてをやるのは大変で、預ける場所もなく地域社会から孤立した生活環境となっていたBさん。サポート制度はありましたが、時間や期間、地域が限定されて思うように使えませんでした。条例により医療的ケア児が切れ目なくサービスを受けられるものに改善されました。さらにケア児専用の防災訓練や、大人になった時どうしていくのかのセミナーなども開催され、ケアするママさん達が積極的に意見交換できる憩いの場もできました。



例えば 認知症の母をケアするCさん

経済的心配はないと思いつつ、離職に踏み切り、地域包括支援センターに相談に行きましたが、母本人が介護支援を受けたくないと断りました。その後、介護しているうちに社会的孤立感に襲われて自分を見失うほど生活が変わってしまいました。新しく設置された市町村のケアラー支援窓口にて相談すると、スムーズに介護サービスを受けられる支援と、介護する側の心のケアにも対応してもらい、安心して日常生活が送れるようになりました。



★きら英敏★
公式ホームページ

条例の解説動画&最新の活動報告 随時更新中
詳しくはQRコードからアクセス!



徹底検証から第二波に備える！

県政報告



緊急事態の時は、まず速やかに対策を実施することが重要です。平時においての議員の行政監視や政策立案はとても重要なことですが、緊急時に議会があればこれ言うと現場が混乱してしまいます。

議員が果たすべき役割は、正確かつ冷静な情報提供を行政に行いその結果を緻密に検証することです。これまでの緊急対応のみのコロナ対策本部から、長期を見据えてコロナ対策特別委員会を設置しました。

第二波に備えた感染症マニュアルを構築し県民の安心と安全、そして経済を立て直すべく今後も全力で取り組んで参ります。

愛する郷土を良くしたい。

埼玉県議会議員

ひで とし

きら英敏



企画財政委員長として

私が委員長を務める企画財政委員会は、県の財政や総合的企画を担当する委員会です。県行政全体を見渡し、限りある財源を有効に使っているかを審査しています。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、人の移動や経済活動が制限され、県内経済へ影響が及んでいます。

県税の減収や感染症対策による支出の増加が今後も続く予想されます。持続可能な財政運営を行うため、執行部と議論を交わしながらしっかりと取り組んで参ります。



テレビ出演

テレビ埼玉の「こんにちは県議会です」にて企画財政委員長として、埼玉県の財政運営と総合的企画についてお話し致します。

＜放送予定日＞

9月13日(日) 10:00~10:15

国からのコロナ臨時交付金について

	埼玉県	幸手市	杉戸町
5月	157億円	1億7,255万円	1億4,631万円
6月	397億円	4億6,573万円	3億7,863万円



上記のように、国からコロナ対策の多額の交付金が市町村に交付されていますが、その使われ方は様々です。これまで行政が一方的に決めてきましたが、今後の交付金については皆さんのご要望を反映させていきたいので、ぜひご意見をお寄せください。

政策調査会の副部会長を務めています

政策全般を調査し立案していきます。さらに議会ではコロナ対策はじめ、県のことばかりでなく国への要望や社会への意思表示もしています。今年の3月議会ではコロナによる緊急支援策として全国で唯一「消費税ゼロ」にすべきと表明しました。

徹底的に水害と闘う 流量調整施設まもなく完成!

平成30年より建設を進めている中川の流量調整施設は令和3年6月までに完成します。(幸手市上宇和田)

これにより中川流域の豪雨などによる幸手市及び杉戸町の被害は大幅に軽減されることとなります。



水害対話集会(2018年)



工事中の写真(2019年7月)

倉松川の河川改修が最終段階に入ります!

長年に渡る倉松川の改修事業は、幸手駅周辺の900メートルを残すのみとなりました。今年度から残区間の橋の架け替えや川幅を広げるための準備に取り掛かります。幸手市街地の内水被害全般に大きな効果が発揮されます。



倉松川増水時(2019年)

東武動物公園駅東口駅前通り 区画整理事業

完成は令和8年!

長年の悲願であった東武動物公園駅東口駅前通りの拡幅は、H30年12月末に国から埼玉県へ事業認可がおりて以降現在の10mから20mに拡幅(古川橋も含む)する計画で着々と進めております。



現在の歩道の狭い古川橋



古川橋完成イメージ図

【施行期間】令和元年12月6日～令和8年3月31日

私の政策が全国展開モデルに!!

自民党青年局による研修会が開催され、全国各地から政策提言が行われました。

今回、私が提案した「近未来の公共交通」政策は関東ブロック代表に選ばれ、7月19日に党役員及び全国青年議員の方々にプレゼンを行いました。

今後、将来の全国展開モデルとして実現に向けて検討されていきます。



ケアラー(介護者)支援条例の提案者として

埼玉県が全国初の実態調査へ

3月のケアラー支援条例制定後、6月には一般公募の方々も含めた有識者会議が開催されました。具体的な推進計画を年度内に完成させるため全国で初めての本格的なケアラーの実態調査が地域包括支援センターや介護者サロンを通じてこの夏から実施されます。



オンライン有識者会議



NHK 全国放送

さらに、ケアラーのうち18歳未満のヤングケアラーについては県内高校2年生全員(約5万5千人)を対象として実施されます。ただ現状では障害者のケアラーに対する調査が抜け落ちていて精神障害者や身体障害者の方々にも実施すべきと提案しています。

これまでの行政の縦割りによってこぼれ落ちていた部分を改善させるためにも丁寧に進めて参ります。



子ども食堂とフードパントリーを県内各地へ

- 子ども食堂とは、無料や低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場です。
- フードパントリーとは、寄付された食料を必要としている人に無料で配布する場です。

埼玉県は民間企業と連携し、寄付された食料をこれらの活動拠点へ支援協力しています。経済格差が広がり生活環境が多様になる中でこうした支援が必要とされています。主に地域のボランティアが中心となって取り組まれている子ども食堂とフードパントリーは県内に約200か所あります。県内各地にくまなく届けるために県内の全小学校校区800か所を目指して取り組んでいます。

現在、県に登録されている拠点数は幸手市と杉戸町ではわずかしかなかった。関心のある方やご協力いただける方はぜひお問合せください。



よくある質問

- ① 資格について…………… 基本的にはどなたでも活動できます。
- ② 衛生について…………… 衛生面をはじめとするマニュアルがあります。
- ③ 組織について…………… 「こども応援ネットワーク埼玉」にご登録ください。
- ④ 行政との連携について… 情報共有をはじめ協力体制を構築しています。

学童(放課後児童クラブ)の環境を良くする

埼玉県内の学童の数は1,774か所、学童児童数は7万1,004人で年々増加しています。幸手市では11か所376人、杉戸町では7か所384人が利用しています。

地域の学童保育については、日頃から保護者の方々から環境改善の要望を多数頂いておりましたが今回のコロナの影響でさらに心配の声が寄せられています。多くは過密解消や指導員不足についてです。この状況を改善させるために小学校余裕教室の開放や指導員の増員を強く要望しています!



PCRセンターとクラスター対策チームの設置

医師会と市町村協力のもと地元でPCRセンターを設置しました。

第二波、第三波に備え、稼働開始しています。コロナの症状が出た方は、まずかかりつけの病院に行き医師の診断を受けてください。医師が検査が必要だと判断した場合に、検査場へのご案内となります。

対象エリア：幸手市、杉戸町、宮代町、久喜市、蓮田市、白岡市

※場所はプライバシーと混乱を避けるため非公表です。

お問合せ先：地元保健所 0480-42-1101

県民サポートセンター 0570-783-770



また、これまで地元の福祉施設等でコロナ対策に関するお話を伺ってきました。職員さんは業務の特性から利用者との密接を避けられません。常にクラスターへの不安を抱えて働かれている現場のために、事前対策のアドバイスや万が一の緊急対応についてクラスター対策指導を行う専門チーム(COVMAT コブマット)を結成しました。

オンライン学習 ～GIGA (ギガ) スクール構想～



※GIGA スクール構想とは、すべての小中学生がオンラインによる学習ができるためにPCとネット環境を整備し、多様な創造性を育む教育を実現させる構想

国のコロナ臨時交付金を使って、各市町村が子どもたちのオンライン学習環境の整備に取り組み始めていますが、市町村で格差が生じています。コロナ対策という観点だけでなく、多様化した子どもたちの教育環境に対応出来るようネットワーク環境を整備していきます。デジタル化した現代において一つの教室で毎日同じ環境で授業をする必要はありません。これからはレベルや個性に合った多様な学習プログラムが可能です。

例えば人気授業をマニュアル化し、ドラえもんが小学1年生の理科を教えたり、有名人が英語の先生であってもいいと思います。間違いなく集中力も成績も向上することでしょう。



LINE ID 「@221hzwup」と検索

また、その他の各 SNS でも様々な情報や意見を発信しています。皆さんのご意見もお気軽にお寄せください。

コロナウイルスの影響で皆様と直接お会いする機会が限られているため、公式 LINE を開設致しました。ご質問やご要望を公式 LINE にて受付中です。



きら英敏
ホームページ
kira-hidetoshi.com



県政報告



愛する郷土を良くしたい。

埼玉県議会議員

ひでとし
きら英敏



財政の責任者として

私が委員長を務める企画財政委員会
は、県の財政と総合的企画を担当する委
員会です。新型コロナウイルスの影響に
よる税収減と、感染症対策による支出が
続く中で、財源をいかに有効に使って
いくかを審査しています。

今年も県内経済への影響が心配され
るため、中長期のビジョンを示しながら
持続可能な財政運営にしっかりと取り
組んで参ります。

「埼玉県ケアラー支援条例」提案者代表として 毎日新聞ネットニュース掲載

神戸市の元幼稚園教諭の20代女性が、介護していた祖母を殺害
してしまうという痛ましい事件が起きました。昨年10月に出た執
行猶予付きの有罪判決について、全国初の「埼玉県ケアラー支援条
例」提案者代表として毎日新聞の取材を受けました。

一連の事件は、一つの家族の問題ではなく、福祉そのものを考え
直さなければ、これからの介護社会は乗り切れないことを示して
います。

ケアラー支援条例は、これまで家族が担うことが当たり前とさ
れてきた介護を、社会全体で支援する体制に切り替えるものです。



埼玉県は全国初のケアラー実態調査を実施 具体的施策へ！

ケアラーは何人いるのか、実はこれまで分かりませんでした。埼玉県ケアラー支援条例の制定後、全国
初の行政による本格的な調査が行われ、昨年11月に実態が明らかになりました。これらの調査結果を元
に、これまで光が当たってこなかったケアラーへの具体的な支援策を有識者会議で検討しています。

※ケアラー：無償で介護や看護等をする人 ※ヤングケアラー：ケアラーのうち18歳未満

7:14 連続編成
「片内編 千葉 水戸 主編」

ヤングケアラー
「高校生の25人に1人」

埼玉県による実態調査
“ヤングケアラー 25人に1人”
県内すべての高校2年生 約5万5,000人が対象
回答率：約90%

NHK 11月24日
「おはよう日本」にて放送

読売新聞 11月27日
新聞各紙に調査結果が掲載

高2が介護 25人に1人
ヤングケアラー 1969人、県が支援へ

世話「毎日」最多35%
「悩み話せる人いない」

県土整備事業

杉戸町 東武動物公園駅前通り 完成は令和8年!

駅前ロータリー及び東口通り拡幅工事

長年の悲願であった東武動物公園駅東口駅前通りの拡幅は、平成30年12月末に国から埼玉県へ事業認可があり、現在の10mから20mに拡幅(古川橋も含む)する計画で着々と進めています。

私が杉戸町中央公民館で開催した対話集会で、駅前開発についてご要望をいただいてから4年が経ち、最近特に目に見えて工事が進んできました。地域の方々の長年のご苦勞と想いを土台として、現在整備を進めています。地域の生活と経済の拠点である東武動物公園駅前開発はあと5年で完成します。【工事期間】令和元年12月6日～令和8年3月31日



4年前の駅前開発対話集会(杉戸中央公民館にて)



解体作業も進む東武動物公園駅前通り

幸手市 中川流量調整施設

中川流域の浸水被害 3割削減!

今年6月完成 徹底的に水害と闘う!

私の議員としての公約でもある水害対策。被害に見舞われてきた住民皆様からの切実な願いを受け、これまで集中豪雨による河川と内水被害の状況を調査してきました。

さらに、幸手市東2丁目・緑台2丁目・中5丁目各地区を中心に対話集会を何度も開催し、埼玉県議会にて繰り返し取り上げてきました。平成30年より建設を進めている中川の流量調整施設は、令和3年6月までに完成します。これにより、埼玉県が保有する放水路の中でも最大規模の幸手放水路の機能(洪水時に中川から江戸川に毎秒50トン排水できる)が最大限生かされることとなります。中川流域の浸水などによる被害は3割削減されることとなります。



1期目から開催を始めた住民皆様との水害対策集会



完成が見えてきた工事現場 宇和田公園上流

杉戸町 御成街道整備

安心安全な歩道の設置完了

杉戸町の西地区を通る歴史ある御成街道は、慢性的な渋滞と歩道のない危険な県道であり、近隣住民の皆様から強い要望を頂いてきました。

住宅街や子どもたちの通学路でもある御成街道の全線に、安心安全な歩道の設置をするため数年前から計画的に進めて参りましたが、今年3月に全ての区間で設置が完了します。



杉戸町 中樞交差点 整備完了

3年前に拡張された屏風・深輪産業団地と4号バイパスの主要な出入り口である中樞交差点。大型車両がさらに増え、ラッシュ時の渋滞や接触事故が懸念され、近隣住民の方からも要望を多く頂いてきました。新たに右折レーンや歩道の設置など交差点の大規模な拡幅を実施。これにより大型車両の安全でスムーズな出入りが可能となり、渋滞や事故等も解消されます。



右折レーンと歩道が設置された中樞交差点

幸手市 幸手市と五霞町を結ぶ新しい道路

幸手境線バイパス 今年3月開通

幸手市 県道・惣新田幸手線の整備

この県道は幸手IC開通後、交通量が急増し車両も大型化していることから、渋滞のみならず振動や騒音などが発生し、道路周辺の方からの悩みの声を頂く度に道路補修を繰り返してきました。今後は、幸手市中心産業団地から国道4号バイパスを結ぶ惣新田バイパスの建設も視野に入れながら調査・検討をして参ります。

八代郵便局付近



補修前

補修後



不法投棄 官民連携し監視強化!

これまでも地域の方々と行政が協力してゴミの処分と監視をしてきた中川治(幸手市長間地区)に、再びゴミが捨てられています。昨年10月からは「JA埼玉みずほ」さん、「幸手都市ガス」さんと連携・協力し、業務中に怪しい車や人を見かけたら通報する仕組みも作りました。皆様からの情報提供もぜひよろしくお願い致します。

ご連絡先: 警察または埼玉県東部環境管理事務所(0480-34-4011)

インターン活動9期生 活動の様子をLINEにて配信!



これまで英敏事務所では、インターンの大学生を受け入れ一緒に活動してきました。昨年夏に活動した大学生は9期生です。初期の頃の学生たちはすでに社会人になり、活躍しています。

今回の活動は、コロナ禍で楽しみの少ない子どもたちに元気を届けるため「寺子屋きらきら☆子ども塾」をオンラインで開催。アニメキャラクターを独自に作成したり、子どもたちに夢と希望のメッセージを届けました。また、若手議員との討論会を実施し、「不登校」や「若者と政治」をテーマに議論したり、ケアラー・ヤングケアラー座談会を実施し、動画配信も行いました。

そして、学生政策コンテストの出場、大島新田のクリーン作戦など、地域や人と様々なコラボをしながら有意義な活動となりました。



寺子屋きらきら☆子ども塾にて「キラキラ☆レンジャー」を結成!



大学生とのケアラー・ヤングケアラー座談会(埼玉県庁にて)



若手議員との討論会

子ども食堂 埼玉県内各地へ

11月～12月に3回に渡り、幸手団地の「元気スタンド・ぷりズム」さんにて、コミュニティ食堂(子ども食堂)を開催しました。今回の食材等は、農林省はじめ企業からご提供頂き、調理は地域の皆さんによる手作りです。感染対策を万全にしながら、子どもたちが楽しめる新しい居場所として今後も開催していきます。

埼玉県は民間企業や団体と連携し、寄付された食糧をこれらの活動拠点へ支援協力しています。経済格差や生活環境が多様になる中で、このような支援が必要とされています。主に地域のボランティアが中心となって取り組まれている子ども食堂は、埼玉県内に約200か所あります。県は子ども食堂をはじめ、学習支援や交流拠点などの子どもたちの新たな居場所を県内の全小学校区800か所を目指して支援しています。



11月29日はアートをテーマに開催



ケアラー支援の法制化を提言

昨年11月25日、衆議院議員会館にて国会議員、厚労省、文科省の方々へ埼玉県ケアラー支援条例のお話をさせて頂きました。社会全体で支援に取り組むためには法制化は欠かせません。国・県・市町村が連携してケアラーの現場を支援していく仕組みを作って参ります。



自民党ケアラー講連の総会にて。衆議院議員会館。

ケアラー新聞

2020年12月号

・きょうだい・きょうだい児支援と向き合う
 ・センダケアラー支援の最前線
 ・ケアラー支援に関する埼玉県議会「一般質問」



noteにて、
 ケアラー関連の
 記事を全文公開中。



きょうだい・きょうだい児
 支援と向き合う

ケアラー新聞を独自に作成。
 ケアラー支援最前線の動きを全国に発信。

コロナ対策 埼玉県の取り組み 第3波と闘う！

埼玉県の新型コロナウイルス対策として長期化を見据えて「コロナ対策特別委員会」を設置し調査、検証を行ってきました。

私たちの生活に身近な対策としては、**ご年配者へのインフルエンザ予防接種の無料化、自宅療養者への食事セット無料配布、営業時間短縮要請に係る協力金支給の実施**などです。

医療体制の整備のほか、ケアラー支援として県内各地に仮設病棟を設置しました。ケアラーが万が一感染した場合に、取り残される要介護者の居場所とケアの確保を行う緊急対応策です。

第3波に対し万全を期し、県民皆様の安心と安全、そして経済を立て直すべく今後も全力で取り組んで参ります。

日頃の活動を動画・写真で配信中！



QRコードで

友だち追加

またはLINE IDで
 「@221hzwup」と検索

最新情報
 見られます！



パパコラム

娘の鉄棒

「パパは何年生で逆上がりができた？」小1の娘が聞いてきました。できなくて悩んでいたの、じいじ(父)と一緒に庭に鉄棒を作りました。意外と大変でしたが、なんとか完成。



愛する郷土を良くしたい。

県政報告

埼玉県議会議員

ひでとし きら英敏



2021年(令和3年) 第20号

県営権現堂公園

令和4年春 2号公園いよいよ完成

東京ドーム約8コ分の広さに!

県営権現堂公園

久喜市栗橋地区から幸手市桜堤までの行幸湖に沿った県営権現堂公園。公園ではおいしい空気をすって、きれいな花を見て、子どもたちは走り回って、気分転換したいですよね! 私たちの街に、魅力的で広大な公園がいよいよ完成します! この公園は4つのゾーンで構成されています。

多目的運動広場の1号公園と、歴史と文化と緑の3号公園、そして、四季折々の花が楽しめる4号公園の3つのゾーンがすでに開園していますが、最後の2号公園が来春ついに完成。それにより、総面積は東京ドームの約8倍の広さになります。公園の中央に位置する2号公園の完成により、広大な公園全体を使っての開放的な散歩やジョギングなどが楽しめそうです。

園内に設置する遊具も県東部最大級! 全身を使って上り下りする複合遊具やスリル満点のスライダーなど、広大な斜面を利用した“他では見たことのないような遊具”を設置します。多くの子どもたちが一目で圧倒され、思いきり遊びつくせる場所になることでしょう。

また、これまで火気厳禁の公園でしたが、家族や友人と楽しめるバーベキューなどの火気使用が、一部の場所で可能になります。

きら
きら
アクション

平成28年の対話集会にて、地元の皆様から頂いた「県営公園を魅力的にしてほしい」「大きな遊具がほしい」「公園でバーベキューがしたい」というご意見に、今回応えることができました! 今後は、キャンプなど多様な使い方ができるよう要望してまいります。

ポコポコ跳ねる!
左右に揺れる!
ビッグモーグルヒル



全身を使って上り下り!
プレイビート



※遊具は工事中のため、まだ遊べません。来春をお楽しみに!

県営権現堂公園 配置図

県土整備事業

経過報告

幸手市 最大の課題に着手

半世紀かかった倉松川改修事業を完結させる!

幸手市の最大の課題は、水害対策です。倉松川の改修は、昭和50年から進められており、ほとんどの工事は終了しています。

未改修の区間は900mですが、最も改修が困難とされてきた国道、県道、線路など5つの橋がまたがる区間となります。川幅は約2倍の20m、両岸には3.5mの通路も設置する計画で、現在、幸手駅西口付近の工事を順調に進めている最中です。令和3年度はさらに下流の川の拡幅、橋の架け替えのための用地取得が完了次第、工事に着手します。着手の順番は、最も大きな工事となる国道4号幸手橋、次に駅に最も近い大日橋の架け替えから行います。

きらきらポイント

これまで水害が特に大きかった地域は、緑台・東・長倉地区です。地区ごとに集会を開くだけでなく、被災した経験のある地区同士で意見交換も行い、課題を共有しながら水害対策を一步步進めてきました。



幸手駅沿いを流れる倉松川の河道を拡幅する工事。



幸手橋も現在の10mから20mに架け替えられます。

経過報告

幸手市・杉戸町 水害対策 中川流量調整施設 まもなく完成!

平成30年より建設を進めている中川の流量調整施設(堰)は、令和3年6月までに完成します。工事也大詰めとなり、施設の全貌が見えてきました。

これにより、埼玉県が保有する放水路の中でも最大規模の幸手放水路の機能(洪水時に中川から江戸川に毎秒50トン排水可能)が最大限生かされ、幸手市・杉戸町の中川流域の浸水などによる被害は3割削減されます。

右)毎秒50トン排水できる放水路の内部。



完成が見えてきた工事現場。大きな堰をつくり、水量調整を可能にします。

計画

杉戸町 中川の護岸を守る 水害対策

杉戸町東部を南北に流れる中川。豪雨があった場合、いつ崩れ落ちるかわからない土手を補修するため、令和3年度中に予算化し、全面的に改修工事を実施します。

今にも崩れそうな中川護岸(北運沼地区より)



経過/計画

杉戸町 古利根川に新たな憩いの場所を

これまで歴史ある流灯祭りをはじめ、親しまれてきた古利根川。3年前から地元住民の皆様と話し合いながら構想を練り、県の事業として川沿いに遊歩道を設置してきました。最近では、川辺の遊歩道を行く通勤通学の方や、散歩される方々をよく目にするようになりました。

また、今話題のサップなどのウォータースポーツをしている姿も。さらに、遊歩道の延伸を進め、古川橋から清地橋までをゆったりと散歩できるようにする計画です。杉戸町の新たな魅力スポットとして注目され、今後はテラスや新たなイベント等、水辺とコラボできる企画がたくさん生まれそうです。



新しく県が設置した古利根川沿いの遊歩道。



サップ(イメージフォト)

完了報告

幸手市 完成! 県道幸手・境線バイパス

幸手市と五霞町を結ぶ新たな道が開通

3月20日に県道幸手・境線バイパスの開通式が行われました。新しい橋は両市町の公募により「令和橋」と命名。これまでの旧上船渡橋は、県境をまたぐ重要な橋でありながらも歩道がなく、特に通勤通学時は常に危険と隣り合わせでした。新たなバイパスが開通したことで、地元住民の利便性だけでなく、経済や防災など様々な効果が期待されます。



茨城県との協力で完成した新たな「令和橋」
右)開通式のテープカット

経過報告

杉戸町 着々と進む駅前通り整備事業 完成は令和8年!

東武動物公園駅東口 ロータリー及び駅前通りの拡幅工事

長年の悲願であった東口駅前通りの拡幅は、平成30年12月末に国から埼玉県へ事業認可が下りて以降、地域住民の皆様のご協力のおかげで順調に進んでいます。大型バスの乗り入れができなかった駅前ロータリーは約3倍の広さになり、道路幅は歩道も含め現在の10mから20mに拡幅されます。特に、最大の課題でもあった旧日光街道との危険な交差点(本陣跡地前交差点)も直線道路として全面的に改修されます。

きらきらポイント

東武動物公園駅前開発については、平成28年に杉戸町にて対話集会を主催するなど、特に力を入れてきました。駅前通りは、交通量が多いにもかかわらず歩道が狭く大変危険な状況でしたが、令和8年以降は安心安全に通勤通学ができる道になりそうです!



危険な交差点(本陣跡地前)を直線道路に。道路幅も10mから20mに拡幅。



解体作業も進む東武動物公園駅前通り。

計画

幸手市 構想中! 県道・惣新田バイパス

県道・惣新田幸手線は、地域住民の生活道路です。圏央道の幸手ICの開設により、杉戸深輪産業団地方面からの交通量が著しく増加しました。車両も大型化し、道路補修や振動・騒音など、道路周辺の方々からの相談を受けています。

幸手ICから国道4号バイパスを直線で結ぶ、新しい県道「惣新田バイパス」の実現に向けて、これからも要望を伝えてまいります。



補修を繰り返している既存の県道

予算 財政の責任者として—

コロナ禍での経済政策や財政運営に全力で取り組んできました。

令和2年度は、企画財政委員長を務めさせていただき、県全体の総合的な施策、またコロナ禍の厳しい状況の中での経済政策や財政運営について議論しました。また、県内経済への影響が心配される時だからこそ、中長期のビジョンを示すこと、持続可能な財政運営、公共投資をはじめケアラー支援などの個人への投資にしっかりと取り組むべきと提言しました。



企画財政委員長として
県財政全般について議論

今後も、公約でもあります「水害対策」「高齢化社会対策」「人材育成」に引き続き注力してまいります。令和3年度は、環境・農林委員長を務めさせていただきます。郷土発展のため、皆様の生活のためにこれからも全力で取り組んでいきます。

きらきらアクション

全国初のケアラー支援策 本格的に予算化!

今年、ケアラー支援政策に取り組み始めて3年目。これまで家庭や家族に丸投げしてきた介護や看護を、社会全体で支援できる仕組みにしていきたいと思えます。昨年3月の県条例制定以来、実態調査、有識者会議を重ね、今年3月にはケアラー支援計画が完成し、令和3年度にケアラー支援のための新規予算を約2億円確保することができました。埼玉県は、引き続きケアラー支援を充実させ、全国のモデルとして取り組んでまいります。

厚生労働省がヤングケアラー支援のためのプロジェクトチームを立ち上げるという動きもあり、今後は全国的な実態調査や支援策が検討されると思えます。ケアラー法制定に向けた働きかけを、関係団体の方々と一緒に取り組んでまいります。

また、県内の市町村及び現場に対し、きめ細かい支援のための条例や支援計画作りのお手伝いをしていくことが今年目標です。



Yahoo!ニュースに掲載されました



ケアラー新聞最新号[3月号] Vol.02完成!

最新号では、ケアラー支援予算一覧、実態調査の結果、「精神障害者家族会」や「病気の子どもと家族の会」の皆様との対談などを特集。発送をご希望の場合は、当事務所まで☎お電話または公式LINEよりお申し込みください。

ケアラー新聞
電子版はこちらから



きら英敏OfficialSite

議員インターンシップ10期生 きら事務所インターン活動日誌

これまでも、インターンの大学生たちと一緒に、地域の課題について政策作りを始め、様々な活動を行ってきました。最近では学生のみでの討論会開催や視察、動画制作・配信まで積極的に取り組んでいます。

この春休みに10期生が取り組んだテーマは、地域の公共施設のリノベーション。幸手市吉田地区の「市立吉田幼稚園」は来年で閉園予定となっており、長年学びの場として愛されてきた校舎を有効利用できないかと調査・研究を行いました。詳細はSNS等でご報告します。

コロナ禍で多くの行事やイベントが中止になり、大学生は対面授業すらなかなか叶いませんでしたが、人材育成というのは不要不急ではございません。学生たちをはじめ、大人も子どもも、視野を広げられる場所を、活動によって生まれる知恵と空間を、これからも大切にしていきたいと思えます。



インターンの大学生たちと

パパコラム



こちらは中級コース

この冬、雪が降ったら遊びたいということで、我が家でも「ソリ」を買いました。ですがこの冬は一度も雪が積もらず、近所の宇和田公園で土手の坂をすべて遊びました。結構大人も楽しめますし、足腰を鍛えることができます!

日頃の活動を動画・写真で配信中!



最新情報
見られます!



QRコードで
友達追加

またはLINEIDで
[@221hzwup]と検索



【発行】埼玉県議会自由民主党議員団 (令和3年4月発行)
きら英敏事務所 〒340-0133 幸手市惣新田1465
TEL:0480(48)1172 FAX:0480(48)0721
mail:kira.hidetoshi.jimusyo@gmail.com

吉良英敏(きら・ひとし)
1974年、埼玉県幸手市の真言宗「正福院」の16代目として生まれる。衆議院議員秘書を経て、2015年から埼玉県議会議員(2期目)。全国初「ケアラー支援条例」提案者代表。特技は剣道、趣味は芸術創作。

ケアラー新聞

お問合せ：〒340-0133 埼玉県幸手市惣新田1465 TEL0480(48)1172 FAX0480(48)0721 発行責任者：埼玉県議会議員 吉良英敏

Topic

- ・きょうだい・きょうだい児 支援と向き合う
- ・ヤングケアラー支援の最前線
- ・ケアラー支援に関する埼玉県議会「一般質問」

ヤングケアラー特集



2020年3月27日条例制定当日、埼玉県議会議事堂にて関係団体の皆さんと記念写真

きょうだい・きょうだい児 支援と向き合う

埼玉県は2020年3月、県議会にて全国初「埼玉県ケアラー支援条例」を制定。安心して介護や看護ができる社会を実現することが目的です。現在、埼玉県は有職者会議を設け、ケアラーおよびヤングケアラーの実態調査を実施し、2021年3月までに具体的な推進計画を策定する方向で進めています。

今回は「きょうだい・きょうだい児」支援のアドバイスをいただきたいと思い、ブレイブキッズ代表岡田実和子さん、一般社団法人ケアラーアクションネットワークワーク協会代表理事持田恭子さんにお話を伺いました。

きょうだい児とは？

慢性疾患や障がいを抱えている子どもたちの兄弟姉妹のことを、ひらがなで「きょうだい児・きょうだい」といいます。

岡田さん 11年前にこの団体を始めました。当時うちの子がまだ小さかった頃、心理学者の友人から、きょうだい児の子育てについてアドバイスをたくさんもらいました。

その時に、これを広める活動をあなたがしてみてもいいですか？と背中を押されて始めることになりました。主に、子どもたちが元気に楽しく遊べるような活動をしています。バーベキュー、海遊び、ハロウィン、貸切スケートなどを企画しています。

また、ママたちの憩いの場になればとママ向けのヨガ、ワークショップなども行っています。

持田さん 兄がダウン症と知的障害があり、私も幼い頃からヤングケアラーの困りごとを抱えて育ちました。1996年に、ダウン症のきょうだい児とつながりたいという想いでHPを作ったのが最初のきっかけです。その後、父と母が倒れ、在宅介護をしていたため10年空白がありました。2013年にケアラーアクションネットワーク協

会を立ち上げ本格的に活動を始めました。きょうだいの集いを毎月1回行っていて、述べ900人くらい参加いただいています。

今年から、中高生のヤングケアラー支援も始めています。中高生は、また小学生とは違う困りごとを抱えていて、見過ごされてきた部分に力を入れていきます。今年から、保護者向けのセミナーも始めました。

岡田さん 身体の不自由な子だと親は1日中介助で終わります。その分、きょうだい児に構えなくなってしまうため、きょうだい児は何でもできるように育てられ、成長が早い分、小学校高学年くらいから親とうまくいかなくなるのが多い気がします。

自分を優先してくれているという意識があると障がい児にも優しくなれると聞いていたので、うちはそれを実践して兄弟間はうまくいっています。

支援者が家に入ることによって家族がぎくしゃくするということもよく聞きます。訪問看護さんが入ることで、家族以外の人が入ることも家にある状態で気が休まらないなど。

兄弟が奇声をあげるので勉強に集中できないという

話もよく聞きます。

また、知的障害の子は暴力を振るう場合もあり、我慢するのはきょうだいの方になってしまいます。肢体不自由の子は、暴力を振るうことがないため兄弟の仲は良い気がします。知的障害のご家庭の方が大変な印象です。

関連団体Aさん(以下Aさん) ブレイブキッズさんは、すべての障がいのご家庭を受け入れているんですか？

岡田さん そうです。病児のご家庭も受け入れてます。きょうだい児だけでなく、親御さんもケアラーで

すよね。うちの子は肢体不自由なので、夜中に何度も寝返りをさせています。生まれてから4〜5時間まとめて寝たことがない、寝不足が何年も続いているお母さんがたくさんいます。

Aさん 夜中は何時間おきに寝返りをさせているんですか？

岡田さん 2時間に1回のご家庭もあります。うちは、多い時は20〜30回の日もあるし、3回の日もあります。呼吸器がついている場合、アラームがちよくちよく鳴るご家庭もあります。医療的ケア児のお母さんの方がもつともつと大変。

レスパイトケア(ケアラーが一時的に休息を取れるようにする支援)も、積極的に利用されているお母さんでも月に1〜2回くらいお母さんも多いです。

Aさん どうして利用しないお母さんがいると思いますか？

岡田さん 手続きも、預ける前の準備も大変です。2泊3日分くらいの荷物を準備したり、免許がないとタクシーで送るのも大変です。空気がない場合もあります。

吉良 サービスが利用しづらいってことですね。預け先まで遠かったりもあるでしょう。

私が以前に伺った団体は、同じような立場のお母さんたちが話し合う環境がありました。ただ、そういうつながりがない地域のお母さんたちはどうなっちゃうんだろうと思うって。

岡田さん 外に出て、相談したり愚痴を言えるお母さんはまだいい。家に籠っているお母さんが心配です。

吉良 今回の議会で初めて、「きょうだい児という

言葉を知ってますか？」と聞いたのですが、大半がぼかんとしていました。まだ認知されていないんです。

岡田さん 自分がきょうだい児だと知らない、お母さんが言葉を知らないケースも多いです。

Aさん ある企業のイベントに行ったら、障がい児にはお菓子をくれるんだけどきょうだい児の分はありませんでした。

岡田さん 私も以前、パラグライダーができるイベントに行ったら、障がい児は2000円でできましたが、きょうだい児は18000円と言われてできませんでした。

持田さん せっかくのイベントやサービスでも、差別、区別されてしまうのが残念です。

吉良 きょうだい児とヤングケアラーの境目についてどうお考えですか？

持田さん ケアラーという大きな傘があつて、その中

で18歳未満がヤングケアラーと呼ばれていて、きょうだい児も18歳未満であればヤングケアラーである気がします。別々に考えると日本の縦割りが出てしまう。きょうだいは、一生の中で、「きょうだい児」ヤングケアラー(↓ケアラー)というような特性がありません。それぞれの支援を切り離さないでほしいです。

Aさん 先日、関係者で話していた時に気づいたんです。きょうだいケアラーって、ヤングケアラーでもあり、若者ケアラーでもあり、ケアラーでもあり、一生ケアラーなんだなって。

持田さん そうなんです。きょうだい児って、すごく長期ケアに関わることがあります。精神疾患のある方のきょうだい児は、本当に一生にわたって関わることもあり、恋愛や結婚に影響しています。

持田さん 以前、イギリスのヤングケアラーズ・フェスティバルに視察に行つてブースを開きました。14人の子がブースに来ました

持田さん 以前、イギリスのヤングケアラーズ・フェスティバルに視察に行つてブースを開きました。14人の子がブースに来ました



ブレイブキッズ代表 岡田 実和子さん(写真左)
ケアラーアクションネットワーク協会代表理事 持田 恭子さん(写真右)
2020年10月23日

きょうだい児とヤングケアラーの境目

ヤングケアラーの経験を強みにしていく

ケアラーとは？

ここからたんに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアすることです。



障害をもつ子どもを育てている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



仕事と介護でせいっぱいでほかにもできない



遠くにひとりで住む高齢の親が心配で頻りに通っている

が、うち8人がきょうだいで、うち8人がきょうだいで、
 児。「本当につらい時はどうして？」と聞いたら、14人が全員同じ回答でした。「瞑想してる。」って。イギリスでは、メデイエーションタイムという瞑想の時間が組み込まれているんです。例えば、弟が自閉症でフーツと騒いでしまったら、胸に手を置いて深呼吸をしているそうです。ある8歳の子どもは、「自分のヤングケアラーの経験を強みにして生きていく。」と言っていて、私はこのプログラムを必ず日本に持ち帰りたいと思いました。

重度心身障害のお姉さんを持つきょうだい児は、大声をあげるお姉さんが追いかけてくるので、本人は勉強しなければいけないし、家に帰ると自分の部屋に走って入るそうです。「私はリビングの椅子に一度も座ったことがない。」と言っていました。

親の精神的なケアもきょうだい児はしている、お母さんも眠れなかったり、鬱になったり、疲れてくる。その時の話し相手となり、幼いカウンセラーのように親の面倒を見ている子どもも多々います。家族の中で、いろんな調整役をしているのもきょうだい児です。地方でセミナーをした

時、13歳の女の子から、障がいのある兄がいるので、将来どのくらい貯金をした方がいいですか？と相談を受けました。美談に聞こえますが、自分で抱えすぎている危険性がすごく高いと感じます。

Aさん 障がいを持っていない子どもと親の関係をどうしたらいいかというのはどこで習うんですか？

岡田さん、持田さん 習わないです。

岡田さん 小さい頃から施設に通わせていても、介護の仕方なども習わないため、どんどん重たくなる子どもを無理に抱えて腰を悪くするケースもあります。

持田さん 手探りでケアをやっているお母さんの背中を見ながら、きょうだい児もやるしかないという状態。しっかりとした知識を得られない中、我流でやるざるを得ないところに問題の根幹があるのかもしれない。でも今の若いお母さんたちは、情報がいっぱいあるので逆に選択が難しいのかも。

持田さん 病児のきょうだい児支援をしているNPOの廊下で待っているきょうだい児を集めて、遊びなどをさせていますよね。

それと同じようなことを行事の時に、障がい児が通う特別支援学校でもできたら。自分と同じ立場の子がいるんだって気づけるかもしれない。その時は支援が必要じゃなくても、記憶に自分一人じゃないんだってというのが残る。

Aさん 確かに特別支援学校や施設では、そこに通う子の兄弟姉妹はみんなきょうだい児ですからね。そこをつなげたいですね。

家族でやるもの

Aさん 関係者でヤングケアラー支援を考えていた時に、「ケアをしていない人と同じようにライフチャンスを自由に持つ」これをメイン目標にしたいという話になりました。じゃあどういいう体制があったらいいのかということですね。

持田さん どういうことに困っているのか学ぶ機会を増やして、親、学校、同級生、専門職に知らせること。教育が大事。きょうだい児と

いう存在を認識していただいて、そういう子がいたら、各支援団体につながる仕組み。でも、現状では支援団体は民間しかない。学校できょうだい児を見つけたらつなげる仕組み。

スクールソーシャルワーカー、保健師、社会福祉士さんなどにまず教育をしなればいけない。専門職と支援団体がしっかり連携を取れるような仕組みづくりをしてほしい。専門職の方々に、どこにどんな支援団体があるのか知っていただく。

うちもブレイブキッズさんもいろんなところから来ます。それは自分の自治体に支援団体がいないからです。できれば、自治体につ欲しい。

吉良 そのために移住されている人もいますよね。

岡田さん 私も家から片道90分は大変なので、足立区に引っ越した経験があります。お母さんたちは夜中、何度も起きてケアした上で施設の送り迎えの運転をします。運転中もケアしながら移動する場合もあります。

持田さん これが今までの日本は、家族でやるもの

なっていました。しかし、今は核家族化でお母さんが一人でやらなきゃいけない時代になってきている。もう家族だけでの抱え込みは終わりにしないと。きょうだい児支援をやるってことは、親の支援も一緒にやっていく必要があります。

岡田さん 子どもが発達障害の場合、夫は妻のしつけが悪いんじゃないかと、それで離婚するケースも多いです。

学校で教える

持田さん きょうだい児の結婚観にも影響してきます。あと、結婚して子どもを持ちたいと思った時に「遺伝」について考えてしまふ。ちょっとタブー視されています。大丈夫だよって言ってもらえることがとても大切です。

吉良 そこが問題の大元ですよ。私は、そういった教育までしていかないと社会全体での支援体制は作れないと思います。

持田さん 教育がなかったと思います。学校の教育とは違う、「障がいとは」「ケアとは」という教育をすべて家族に任せてきた社会。

少子高齢化と2025年問題に向けて考えると、今がぎりぎりのやらなければいけないタイミングだと感じます。

吉良 私は議会で、子どもたちの福祉教育の側面を持ったケアラー手帳の作成をすべきと提案しました。ヤングケアラーやきょうだい児に気づいてもらうだけでなく、それ以外の人たちもみんな読んで読めるものを作った方がいいと思っています。

認知症も、昔は外で見られたくないというイメージがあったけれど、啓発して最近だいぶ変わってきました。

持田さん 私たち家族は、ケアラーという言葉が本当にほしかった。ケアラーという大きい傘を作って、その中でいろんなところの支援がある体制づくりをした。

吉良 それぞれ皆さん少数派だと思ってるんですけど、でも、ケアラー全体ですごい人数になります。

Aさん 邪魔しているのは家族が見るべきという意識ですよ。

Aさん どうして25歳を目

**つながる
きょうだい児**

家族でやるもの

学校で教える

子供を手放す



標にしたんですか？

岡田さん 福祉大学の学長さんの講演会に参加した時「施設は決まった時間におむつ替えやトイレをしたり自由も少ないから、そういう所にもし抵抗があったらお母さんたちでグループホームを建てる方法があります。」というお話を聞きました。18歳から障害者年金がもらえるので、それを月々貯めていき、25歳までに10人のママたちを集めるとグループホームを建てる資金が集まるんです。だから1円も使わずに貯めて、足立区の補助も使いながら、グループホームを建てて子どもを手放そうという目標をママ友たちと立てています。

持田さん 資金繰りが上手くいかなくなって、積み立てたお金がなくなり、新しいグループホームをゼロから探し直さなきゃいけないという問題も各地で起きていて心配しています。運用の失敗なのか、出資者がいなくなったのか、頓挫する話を聞きます。

岡田さん 頓挫の話は聞いたことがあります。ママ友の仲が悪くなっちゃって…とか。

すでに持っている

持田さん これでもいいんだと思える場所。制度につなげるのは大切だけど、今あるのは障がい者や高齢者への支援制度なので、ヤングケアラーへの直接的な支援は、子どもたちの話を聞く、受け入れる、共感する、心配や不安や悩みを軽減すること。私は、解決する力は本人が持っていると思っています。

本人が本来持っている力を発揮できるように、どうしたら解決できるのか、自分分は本当はどうしたいのかを自分で見つける力を伸ばしていく。イギリスでそういうプログラムがあります。

そういうことができるサポートを教育することが大切です。

吉良 まずは概念を知ってもらうことです。あとは、学校の先生やスタッフ、福祉系の専門職が共有できる仕組みを作ること。そこは、すぐに取り組めるかなど。

持田さん シンポジウムやフェスティバル的なイベントをできればいいかなど。

Aさん 埼玉県では、ケア

ラー週間をやるうという話が出ています。

吉良 ケアラー週間で、社会全体でそういう空間を作れば。

持田さん オーストラリアは10月の第何週かがケアラー週間で、イギリスは6月最後の金土日にケアラーズ・フェスティバルを行っていて、アメリカは4月10日がきょうだいの日と決まっています。日本でも、NPO法人しぶたねさんが「きょうだいの日」を制定しました。

埼玉県ケアラー支援条例もできたので、ケアラー週間も大々的にやれたらいいですね。

吉良 誰もが共感、学べる場ですよ。

Aさん 介護の日もありですよ。11月11日に。

吉良 ケアラー週間は実現できそうですよ！

Aさん イギリスのヤングケアラーフェスティバルのビデオを見たことがあります。子どもたちが思い切り遊ぶのですが、それだけでなくvoiceというイベントを作って、そこに議員さん

が来て、子どもや若者の話を聞いていました。面白いなあと思います。

んが来て、子どもや若者の話を聞いていました。面白いなあと思います。

持田さん イギリスも20年前は、切り株の上に6人の子どもたちが座り、ヤングケアラーフェスティバルの創設者とその切り株の上で話したのがフェスティバルのはじまりです。

新たな価値

Aさん 岡田さんは親ケアラーとして、ぜひほしい支援策はありますか？

岡田さん 5、6年前に埼玉県で子どもを殺してしまったお母さんがいました。ちょうど小学1年生になったばかりの子で。親からすると、1年生で特別支援学校に預けると、手が離れる、自分の時間ができるといふ時期なのに。他にも、ケアを苦に自殺したお母さんもいました。お母さんが病んでしまったため子どもを殺してしまったり、自殺してしまふ。自分の時間を大事にできるような仕組みづくりをしてほしいです。

夫の理解や協力が得られなかったのも理由の一つかも。

持田さん 結婚して、障が

きょうだい児が抱えている困りごと

- ・親は障がいや疾患のある子どものケアにつきっきりになるため親の関心がきょうだい児に向きにくい
- ・きょうだい児が、親が行う障がい児の医療的ケアの手助けや見守り、家事手伝いなどを担うことがある
- ・将来は、障がいのある兄弟姉妹の面倒を見ることが当たり前だと親や周りの大人から決められてしまう
- ・ケアをしていない他の子どもたちと同じようなライフチャンスを手に入れたり選択したりする機会を失いがち
- ・先生や同級生や友達に障がいのことを説明できず、分かってもらえる人と出会える機会が極端に少ない



い者と関わりがなかった人が、急に自分の子どもが障がい児と言われても、そこが難しいです。いろんなところが絡み合っているのが、きょうだい児の難しさ。きょうだい児の強みは、自己解決する能力を内在しているところだと思っています。大人がそこを引き出すところに力を入れていきたい。

「きょうだい児への社会的な支援の必要性」(一部抜粋)

ケアラーアクションネットワーク協会様より



きょうだい児とは

慢性疾患や障がい(知的障害・発達障害・精神障害・脳障害・医療的ケアなど)を抱えている子どもたちの兄弟姉妹のことを、ひらがなで「きょうだい児・きょうだい」といいます。ヤングケアラーである「きょうだい児」は、家族に対して直接的な身体介護をしていない場合、自分が「きょうだい児」であると認識できず、家族の一員として親の精神的な支えとなり、障がいのある兄弟姉妹のケアを幼い頃から親亡き後まで継続的に請け負っています。子どもの頃から心身の健康を脅かしかねない困りごとがあるにも関わらず、それらが社会に見えづらくなっています。



社会的な支援の必要性

- ・きょうだい児の存在や困りごとを学ぶ機会を増やし発見につなげる(親・学校・同級生・専門職への研修と周知)
- ・自治体にある既存の子ども相談窓口で「きょうだい児」を支援団体につなげる仕組みを設ける
- ・学校できょうだい児を発見し、相談窓口を経由してきょうだい児が集まる「場」や専門職につなげる仕組みづくり
- ・専門職(社会福祉士・保健士・ケアマネジャー・スクールソーシャルワーカー等)と「きょうだい児支援団体」との連携強化
- ・きょうだい児サポーターの育成と、きょうだい児が気軽に集まれる場づくり(各自治体に最低1つ必要)

ヤングケアアラワー支援の最前線



Yancle 株式会社代表取締役社長 宮崎成悟さん（写真左）
2020年10月19日

トホームルームで行われたため、時間が短くて書ききれなかった」とつぶやいている高校生がいました。

宮崎さん 先生もお忙しいと思うので、道徳の授業などで取り上げてくれたらと思います。

関連団体Aさん（以下Aさん） 宮崎さんは15年間お母さんの介護をされてきて、疑問に思ったことなどはありますか？

宮崎さん 他に支える人がいないのであれば、自分が支えてあげなきゃいけないという想いでした。介護保険は使っていたので、それ以上は助けを求められないと思っていました。

ヤングケアアラワーの人と話をしていると、そもそも福祉にアクセスできていない方も多いと感じます。

関係者Bさん（以下Bさん） 気づいてあげる存在が必要ですが、スクールソーシャルワーカーに取材すると、現場は圧倒的に人手不足で、しかも非常勤です。

各校一人いることが理想ですが、今の状況だと、担任の先生との相性も影響する

し、熱心な先生がいないと気づけなくて、そこから福祉につなげません。やりがいのある仕事だし、なりた

いはそれなりにいるけれど、待遇が悪くて生活していけないので職業として選べないのが現状です。抜本的に体制を強化するために、国が予算を増やし、スクールソーシャルワーカーを常勤にして増やさないといけないと思います。

Aさん いじめや問題があったら、駆け付けてくれるような存在がいると学校の先生たちも安心します。先生はアンテナを立てるだけでいい状況が理想です。

Bさん 生徒指導が得意な先生ばかりではないため、それを仕事にする人がいない。ヤングケアアラワーだけでなく、あらゆる貧困や、困っている子どもを福祉につなぐことが大切です。一度、安倍政権の一億総活躍の際に予算が少し増えましたが、調査研究にとどまり全然足りませんでした。

吉良 2018年の、大阪府の公立高校生を対象とした調査によると、子どもたちはスクールソーシャル

ワーカーやスクールカウンセラーなどの専門職に相談していないという結果が出ています。

私のケアアラワー支援活動を見てくれた民生委員さんからの要望で、地元幸手市の民生委員さん向けにケアアラワー講座を行うことになりました。これまで埼玉県にケアアラワー支援に関する出前講座はありませんでしたが、一般質問で提案し新たに開設されました。地域の側からの支援という視点で、民生委員さんがヤングケアアラワーを理解してくれることは大切だと思います。

必要なのは自由時間と居場所

Aさん 子ども全体に対しての意識が日本は低いと感じます。

吉良 子どもへの投資の額を国レベルで比較すると、日本はとても低い。スクールソーシャルワーカーの拡充や、レスパイトケアサービスなどの充実についてはどのくらいの規模で必要なのか、早く実態を正確に把握したいです。

形式的に、市役所や地域包括支援センターに相談窓

うなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。

ヤングケアアラワーの実態

いやスクールカウンセラーにも調査していく方向ですが、小中学生や不登校の子どもたちにも調査が必要だと思っています。宮崎さんは、どういことが必要だと思いますか？ヤングケアアラワーは、自覚を持っていない子ども多いと思うので。

宮崎さん ヤングケアアラワーといっても、週1回程度お

じいちゃんやおばあちゃんに付き添うくらいの子たち

はそこまで困っていない気がします。どうやって生活に困っている子たちにアクセスするか、意見を吸い上げるかを考えなきゃいけない。学校の職員さんや先生、生徒たちへの周知が必要だと思っています。

吉良 先生たちが理解してくれることも大切だと思います。

Twitterで「実態調査のアンケートがショ

ヤングケアアラワー支援のアドバイスをいただきたいたい、家族の介護をしている20〜30代の就職・転職支援Yancle株式会社代表取締役社長宮崎成悟さんのオフィスにお伺いしました。

ヤングケアアラワーとは？

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うよ



「24時間テレビ」に出演された宮崎さん



口を置いて、ヤングケアラーは相談に行かないと思えます。身近な場所、身近な人に相談をしたいはずで

吉良 先日のNHK「おはよう日本」や「24時間テレビ」など、メディアで取り上げられている影響も大きいですね。

Aさん 宮崎さんはオンラインコミュニティを始められていますよね？



宮崎さんよりオンラインコミュニティの説明を受ける

宮崎さん 始めて数ヶ月経ちます。常時スマホから相談できる感じです。対象年齢は40歳以下にしています。

Aさん 今、施策を考える段階なのですが、宮崎さんのところに集まる声の中から、ヤングケアラーには自由時間がこのくらい必要だとか、アイデアをぜひいただきたいです。

宮崎さん コミュニティで100人程度のアンケートができますよ。

Aさん このケースの人にはこの施策が必要だということがかねば、それはすごく大事なことでと思います。私は**施策に必要な一つは、自分の時間（自由時間）の確保**だと思っています。

Bさん 施策も大きな柱が必要ですよ。施策案の中でいうと、**レスパイトケア**ですね。あとは、**相談場所**も大切ですよ。

Aさん 最初から、相談場所って言われて待ち構えら

れると抵抗感があると思えます。

宮崎さん 相談っていうよりは…

一同 **居場所**ですね！

Aさん 相談って言われると何を相談していいかわからなかったり、具体的に何をしてくれるか分からなければ行かないと思います。

宮崎さん 兄弟に重度の障がいがあり、親がアル中に近い状態のため、家が危険で避難した経験がある子から、このコミュニティがあったから孤立せずに済んだと言われました。自分だけじゃないって思えるのは大事だと思います。

Aさん 例えば千葉県だったり、中核地域生活支援センターがあるから、そこに言えば親御さんのことも自分のことも丸ごと相談のつてくれます。みんなきつと知らないと思います。こんなところもあるよって教えてあげられる場所が必要。高齢の方だったら、地域包括支援センターがあるからそこを紹介するのだけ、ヤングケアラー支援で

全国にそういう場所があればいいですよ。

ヤングケアラーサロン

Bさん こういうサロンのような居場所づくりって、まず取り組むべきことですよ。

関西でも、ヤングケアラーに力を入れている大学の先生方がオンラインサロンを始めていますね。

吉良 サロンといえば、埼玉県が力を入れている子ども食堂は、「子どもの居場所」として県内800箇所を目指して取り組んでいます。

ヤングケアラーの相談と、子ども食堂に来てもらって食事とかコミュニケーションをとる中で相談があればいいのかなど。ヤングケアラーについて研究されている成蹊大学の澁谷教授も、**子ども食堂は良い拠点**になるんじゃないかと以前からおっしゃっています。

Aさん 行政や議員さんだけではなく、子ども食堂に携わる方々が理解していないと、せっかく来て傷つ



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

ヤングケアラーとは？

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。ケアが必要な人は、主に、障がいや病気のある親や高齢の祖父母ですが、きょうだいや他の親族の場合もあります。

いてしまつては。一方で強

みは、地域に近いところにあることですよ。あと、サロンについて言葉はどうですか？

宮崎さん 今時なネーミングにしたいですね。

Bさん カフェとか？

Aさん いつ来ても、いつ帰ってもいいイメージがいいですね。

あとは、ヤングケアラーは18歳未満としているけれど、20〜30代は埼玉県の条例だとケアラーの中に入ってしまうので、若者ケアラーというカテゴリを作った方が。

Bさん 20代前半の方から、僕はヤングケアラーの定義に入っていないんですか？という反響があります。20代の若者ケアラーをもっと見てほしいという意見がうちの会社にも多く寄せられています。

宮崎さん 20代の方が具体的な悩みがあります。仕事どうしよう、結婚どうしよう、と悩む時期。だから、私のオンラインコミュニティも20代半ばが多いんだと思

います。

Aさん 私のゼミの子も、重度心身障がいの子がいるから転勤のある正社員を受けていいかと悩んで相談にきました。

Bさん 関西のヤングケアラーの集まりが「ふうせんの会」という名前で、最近Twitterアカウントもできたんですよ。

ヤングケアラー支援の最善策とは

吉良 支援案の中にある、レスパイトケアや緊急支援（ケアラーが病気などでケアできなくなった場合に、要介護者や障がい児者のケアと居場所の確保）は、ヤングケアラーの有効な支援になりますか？

宮崎さん 一時的な支援で何かを救われると思つていません。1日家に来てもらったくらいではほとんど解決しませんが、例えば、高校の合宿や修学旅行などイベントの時には助かると思つています。

吉良 単発の支援ではだめかもしれないですね。ソ

シャルワーカー的で、ケアマネジャー的な人が必要かもしれないですね。ケアマネジャーさんはヤングケアラーの存在に気づいて

いる人が多いです。でも仕事上、直接助ける立場じゃない。もう少し、ケア全体を見渡せる制度設計にしていくべきだと思います。

宮崎さん 自分が18歳ぐらいの時、母のために往診の先生が来ていました。ある時、先生が「学校に行ける？何かあれば相談してね。」と言ってくれました。それが、すごく嬉しかったのを今でも覚えていています。

Aさん 気にかけてくれて信頼できる大人が必要ですよ。私の大学では、交渉能力のある子は退学せず頑張れて、交渉能力がない子は退学してしまいました。交渉能力がなくても、代わりに交渉してくれる存在があれば。

宮崎さん 交渉能力のある人たちは、就職の時もそのまま企業に伝えていきます。でも、そういうことが苦手な人も多く、隠そうとしたり、ネガティブな書き方を

してしまう。そういった部分をサポートするのが私の役割だと思つています。

吉良 以前、宮崎さんにヤングケアラー支援の最善策についてなんですか？とお聞きした時に「分かりません。」とはっきりおっしゃったことが印象的でした。私は、最善策を明確に提案していただくことを理想としていま

すが、「あ、これ分からななんだ。」と思つきました。だからまずは向き合う。そして一緒にどうしていくのかという方向でいかないと。この子にとっては解決策だけど、別な子にとっては違うっていうことを理解しないと進めないんじゃないかと気づかされました。

自覚のない子どもたち

吉良 自覚のない子どもたちに向けての啓発ってどういうものかと思つていますか？

Aさん みんなが見るのは体験談です。それを見て自分もヤングケアラーなんだと気づけると思っています。

Bさん 宮崎さんがお母さん

の介護について書いている投稿も、SNSですごく拡散されていますよね。

ケアラー週間

宮崎さん 埼玉県で進めている「ケアラー週間」に何をしたらいいか考えてみました。ウェブサイト、ヤングケアラーの語りをたくさん掲載したり、「#ヤングケアラー」をみんなで拡散しよう！とSNSで呼びかけるのはどうでしょう。

吉良 いいですね。何が必要で、何が目標かを明確にしないと、イベント的なパフォーマンスで終わる気がしますよね。

宮崎さん 元当事者から、当時はモデルケースがなかったという話をよく聞きました。なのでモデルケースをたくさん用意して拡散したいです。モデルケースが示されれば、ヤングケアラーが自分にも未来があるんだと思つて、前を向けると思つきます。

宮崎さん 学校に行けてい

る子どもと、行けていない子どもで支援策を分けられますか？学校に行けている時点で生活は最低限送れています。不登校になつてしまつている子どもたちが一番心配です。

吉良 一番支援が必要なところだと私も思います。今回行った高校生への実態調査では、学校に通つている生徒の声しか聴けていない。すでに悩み、つまづいている子どもたちこそ、支援が今すぐ必要です。

Aさん ソーシャルワーカーさんが定期的に訪問する体制ができれば。

宮崎さん 安心して相談できる大人の存在が必ず必要です。私が大学進学を諦めて専門学校にしようと思つた時、親戚がアドバイスをくれて大学進学を決めました。そういう大人が近くにいると助けられるはず。

吉良 今、不登校はすごく増えています。ヤングケアラーとの関係性はデータが出ていませんが、そこへの支援も必ず必要です。これからさらに実態を調査していきたいです。

出典 © 一般社団法人日本ケアラー連盟



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

ケアラー支援に関する埼玉県議会「一般質問」



「埼玉県ケアラー支援条例」
提案者代表 吉良英敏

2020年10月6日埼玉県議会9月定例会「一般質問」

埼玉県は2020年3月、県議会にて全国初「埼玉県ケアラー支援条例」を制定。

これまで全国の議員さんから、「ケアラー・ヤングケアラー支援について議会に質問をしたいと考えています。どのような内容が良いでしょうか?」という相談やお問合せを多数いただきました。

そこで、埼玉県議会9月定例会「一般質問」でケアラー・ヤングケアラー支援について取り上げた内容を公表いたします。動画は埼玉県議会HPにて公開されており、(10月6日一般質問)

埼玉県議会の一般質問は、質問と答弁を合わせると約1時間です。今回、私はすべてケアラー・ヤングケアラー支援に関する質問をしました。普通ですと、選挙区の交通渋滞や水害などの地元問題も扱いますが、ケアラー支援が地元にとっても最大の課題であると考えたからです。

以下、多少の解説を入れながら、なるべく質問文章のまま掲載いたします。



プロジェクトチーム
立ち上げ当初の勉強会

2019年6月プロジェクトチーム立ち上げ当初は「ケアラーって何?…」という状況でした。それくらいケアラーという言葉は認知されておらず、分からない存在でした。概念がありませんでした。

ケアラーとは、無償で介護や看護などをする人。さらにヤングケアラーとは、ケアラーのうち18歳未満の子どものこと。ケアラー支援条例とは、介護や看護などをする人を支えるための条例です。

具体例をあげれば、埼玉県所沢市が舞台のアニメ映画「となりのトトロ」。この主人公のサツキちゃん、彼女はヤングケアラーです。入院している母親に代わって、幼い妹の世話をしている小学生。直接、家族

の介護や看護をしていなくても、障がいや病気の家族に代わって家事をしたり、幼い弟や妹の世話をしている子どももヤングケアラーです。

それではまず、なぜこの条例が必要なのか。介護者の7割が悩みを抱え、介護離職は年間10万人、虐待の6割は孤立介護からくるものです。さらに、介護疲れによる自殺は年間2000件、介護殺人は年間40件。これらを見ても、社会的・政策的な支援が必要なのは明らかです。

介護などで自分を見失わないように。孤立することがないように。誰もが安心して介護や看護ができる社会を目指します。それでは改めて、条例の中身を追いながら質問していきたいと思えます。

①最も大切にして いる第三条の基本 理念について

(1)社会全体で取り組むために、その哲学について

基本理念には、ケアラーが孤立することのないよう「社会全体で」支援すると掲げられています。この「社会全体で取り組む」とか「共生社会」という言葉はよく言われるようになり

ました。

平成28年に埼玉県議会で、「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例」を作りました。趣旨を簡潔に言えば、共生社会を社会全体で実現させること。

社会全体ですから、みんなが支援する資源になるというのですが現実にならなっているでしょうか。

お寺の話で恐縮ですが、昔から位牌や仏像を新しく作った時には、魂入れの儀式を行います。想いを込める。ちなみにそれを開眼(眼を開く)と書きます。ここで言う、条例に魂を込める。共生や、ケアラー支援という言葉に想いや希望を吹き込まなければいけないと思えます。



埼玉県議会本会議場

パネルをご覧ください。
「わからない存在とわかりあえたら、新しい世界がひろがる。」とあるデパートで掲示してあったムーミンのイベントポスターです。諸々の事情があり本物ではありません。ちなみにムーミンは私が書きました。

私は、このポスターを見て一目で惹かれ立ち止まりました。写真も撮りました。このメッセージ性が、ケアラー支援にぴったり。共生社会に必要なと思つたからです。共生社会の先にある魅力と希望が伝わってきました。ここで言う「新しい世界がひろがる」というところは、そんな世界がイメージできれば社会全体で取り組むことができると思ひます。

また別な方法として、海外ではこうした取り組みに対して、経済効果に換算し、社会的価値をアピールすることも見受けられます。今後、社会全体でケアラー支援に取り組むために、どのような哲学、メッセージ性を持つて取り組んでいくのか、知事のご所見をお聞かせください。

(2) 基本理念に基づく具体策について

4つ提案いたします。
本条例は全国初というこ

ともあり、たくさんのお問合せやご意見をいただいてきました。一番よく聞かれるのは「結局、この条例で何が変わるのか？ 具体的に、どんな支援をしてくれるのか？」ということです。そこで具体的な支援策を提案いたします。

まず、ケアラーが疲れた時にいつでも休息が取れるようにする「レスパイトケアサービス」を充実させることです。

次に、ケアラーに万が一、何かあった時に対応できる緊急支援策です。これは、すでにコロナ禍でのケアラー緊急支援策として予算化され、ケアを引き継ぐ人と居場所確保のため、県内7箇所緊急滞在施設を開設することになりました。

しかし、ケアラーがケアできなくなる状況というのはコロナ禍だけでなく、いつでも起こりうることです。常に、緊急の時の支援体制があることは、ケアラーにとって何よりの安心につながります。

次に、オンライン支援体制です。オンラインサロンという言葉は聞くようになりまし。いわゆるウェブ上での新しいコミュニティです。同じ悩みを持つ人たちと、悩みを打ち明けたり、相談し合ったりする場は

Twitter上でもたくさんあります。そこで私は、ケアラーサロンのオンライン化を提案します。特に、自覚がないことでサロンにたどり着けないヤングケアラーにとってSNSは有効です。

先日も、独自にケアラー・ヤングケアラー支援の座談会を開催し動画配信してみました。テーマは2つ。1つ目は「介護は家族がやるものか」、2つ目は「社会



学生たちとケアラー・ヤングケアラー座談会を開催し動画配信

全体で取り組むにはどうしたらいいのかわかりません。様々な反響がありました。ケアラーは在宅でケアしていいです。今後は、こうしたウェブ上の支援体制も整えていくべきです。

次に、現在県内にある介護者サロン35箇所を1000箇所にする予定です。突拍子のない数に思われるかもしれませんが、すでに地域包括支援センターは県内に283箇所あり、そこを拠点とすることができま

す。さらに、現在埼玉県が推進している「子ども食堂」にサロン機能を設けます。県は、800箇所を目標に支援をしています。現在、200箇所以上に拡大しており、順調に子どもたちの新たな居場所として浸透しています。より身近な場所、「スーパが冷めない距離」にサロンを設置し、温かい支援体制を作るべきだと考えます。

以上4つの優先施策を提案いたします。全国初です。前例があるわけではありませ。国や、他県の動向を見極めることもできません。埼玉県が日本をリードして取り組むべきものです。福祉部長のご所見を伺います。

8月2日、県内の高校生がTwitterでつぶやいていました。その内容は、「実態調査のアンケートがショートホームルームで行われたため、時間が短くて書ききれなかった」というものでした。

2 第八條のヤングケアラーへの支援について

学校に場所を移します。先週、毎日新聞の一面にも掲載されましたが、大阪歯科大学が埼玉県内の高校11校にヤングケアラーの調査をし、3917人から有効回答を得ています。

ちなみになぜ埼玉県なのかと伺うと、たまたまだそうです。全国で協力してもらえる学校を探していたところ、ヤングケアラーに理解を示したのが埼玉の学校だったとのこと。誇りに思っています。

そしてその結果によるとなんと20人に1人が家族の何らかのケアをしているとのことでした。私たちが想像する以上に介護社会は進み、子どもたちにも影響をおよぼしているのです。今年1月にイギリスのヤングケアラー支援で活躍するヘレン・リードピターさんのお話を伺う機会がありました。もともと大切なことは、「子どもの声を聴くこと。」とおっしゃっていました。そこで以下、その視点から質問をいたします。

(1) 学校スタッフへの研修と情報共有の仕組みづくり

先日、県内の高校生がTwitterでつぶやいていました。その内容は、「実態調査のアンケートがショートホームルームで行われたため、時間が短くて書ききれなかった」というものでした。

ヤングケアラー支援の必要性を、学校スタッフに研修等で早急に支援すべきです。さらに現在の学校では、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、支援員、相談員など私が子どもの頃にはいなかった方たちが教員を支援し学校を支えています。

さらに最近では、部活指導員、スクールサポートスタッフ、学習指導員もおります。子どもたちの状況を共有する仕組みづくりを具体的に進めることが必要です。以上、研修と情報共有す



ヘレン・リードピターさん 成蹊大学にて

る仕組みづくりについて教育長のご所見を伺います。

(2) 学校サロンの設置

子どもの声を聴く場として、ヤングケアラー支援拠点「学校サロン」の設置を提案します。落ち着いて子どもの声を聴く場。その子の生活や人生全体を見ることのできる場です。

埼玉県内の子どもたちを取り巻く環境は、児童虐待相談対応件数は10年連続で過去最多。兇相は一杯、里親も足りない。いじめ、自殺。最近の著名な方の自殺。若い世代への影響も懸念されます。そして不登校は年々増加の一途。子どもの声をもっと聴かなければなりません。

私はこれまでヤングケアラー支援の最善策は何かを考えてきました。結論から言うと、分かりませ



地域の方と運営している寺子屋きらきら☆子ども塾（アートの授業）

しかし、ヤングケアラーの存在を知り、共に向き合うことに確かな希望の光を感じます。保健室でもいい。子どもたちが声を出せる、休憩場所を作るのです。その子全体を見るためには、周辺の声や、地域の方々も出入りできる空間が必要でしょう。そしてそれは結果的に学校と教員を応援する拠点になるでしょう。

以上、学校サロンの設置について教育長のご所見を伺います。

略して県学調。教育委員会はその有用性を強調し、国などから絶賛されていますが学校現場では必ずしもそうではありません。簡単にいうと副作用が強い。埼玉県は、年に2億円以上かけてこの調査を6年間実施してきました。確かに児童・生徒一人一人の学力の伸びを測れるメリットはあります。しかし同時に、先生の能力を測る指標にもなっています。さらに学校や市町村の順位が成績のようになり一人歩きし、先生も児童も4月の試験対策に追われています。これが実態です。

こちらのパネルをご覧ください。これは私が地域の方と運営している寺子屋きらきら☆子ども塾。手話の授業の写真です。こちらは、近所の工務店さんの廃材を使ったアートの授業。テーマはしあわせの木。もはや何を作っているか分からない状態ですが、創造力を一杯養います。

しかし、この夏はコロナの影響で開催することができませんでした。そこで考えたのが、オンライン子ども塾。評判はいまいちでなかったのですが、参加者は少なく異なる現象が起こりました。これまで近所の子どもたちを対象に行ってきた事業に、他県から、さらに海外からの参加があったのです。改めてオンラインの可能性を感じました。

学校休校の時に最も多かった要望はオンライン学習。私はコロナ禍だけでなく、増え続ける不登校の対策にもつなぐべきだと思っています。

全国に15歳から19歳だけでも3万7000人のヤングケアラーがいると言われています。年齢層を考えると、ケアに携わるために不登校になってしまっている子どももいるでしょう。

そこで、ヤングケアラー支援策として、オンライン学習などの多様な支援策を講じることができないかお伺いします。さらに不登校の児童生徒全般に対しても、市町村や学校任せにするのではなく、県立高校から積極的にモデルをつくる必要があるのではないのでしょうか。現状、県立学校ではどのようなオンライン学習を実施しているのかも含め、教育長のご見解を伺います。

しかし、ここまで言ってきたんですが、全面的に反対しているわけではありません。逆にこの副作用をうまく使うのです。学力の伸びだけでなく、伸び悩んでいる子や、明らかに落ち込んでいる子の状態を把握することで、ヤングケアラーをはじめとする子どもたちのケアに結びつけることはできないか。県学調をパランスよく活用し、教育的な視点だけでなく福祉の面でも有効活用することについて教育長のご見解を伺います。

学校休校の時に最も多かった要望はオンライン学習。私はコロナ禍だけでなく、増え続ける不登校の対策にもつなぐべきだと思っています。

全国に15歳から19歳だけでも3万7000人のヤングケアラーがいると言われています。年齢層を考えると、ケアに携わるために不登校になってしまっている子どももいるでしょう。

そこで、ヤングケアラー支援策として、オンライン学習などの多様な支援策を講じることができないかお伺いします。さらに不登校の児童生徒全般に対しても、市町村や学校任せにするのではなく、県立高校から積極的にモデルをつくる必要があるのではないのでしょうか。現状、県立学校ではどのようなオンライン学習を実施しているのかも含め、教育長のご見解を伺います。

学校休校の時に最も多かった要望はオンライン学習。私はコロナ禍だけでなく、増え続ける不登校の対策にもつなぐべきだと思っています。

全国に15歳から19歳だけでも3万7000人のヤングケアラーがいると言われています。年齢層を考えると、ケアに携わるために不登校になってしまっている子どももいるでしょう。

そこで、ヤングケアラー支援策として、オンライン学習などの多様な支援策を講じることができないかお伺いします。さらに不登校の児童生徒全般に対しても、市町村や学校任せにするのではなく、県立高校から積極的にモデルをつくる必要があるのではないのでしょうか。現状、県立学校ではどのようなオンライン学習を実施しているのかも含め、教育長のご見解を伺います。

3 第九条の推進計画策定のための実態調査について

ケアラーは何人いるのか。実は分かりません。正確に把握できていないのです。よく「具体的な施策を早く実施して！」と言われることがありますが、まずは実態の把握が必要です。

全国初の行政による本格的な実態調査は、9月末にアンケート回収が概ね終わったところですが、ヤングケアラーの実態調査では、県内すべての高校2年生にアンケートを実施しました。その数193校約5万5000人です。ほとんどの学校にご協力をいただきました。ありがとうございます。

しかしここで懸念されるのは、不登校の子どもに調査ができていない。また小中学生の実態も分かっていないということ。となりのトトロのサツキちゃんも小学生です。今後ぜひ、小中学生、さらに不登校など学校に通えていない児童・生徒も調査するべきと考えます。実態調査の現状の分りうる結果と、今後さらに実態を明らかにするために、どのように調査を進めていくのか福祉部長にお伺いします。

埼玉県ケアラー支援条例

（目的）

第一条 この条例は、ケアラーの支援に関し、基本理念を定め、県の責務並びに県民、事業者及び関係機関の役割を明らかにするとともに、ケアラーの支援に関する施策の基本となる事項を定めることにより、ケアラーの支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって全てのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会を実現することを目的とする。

（定義）

第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一 ケアラー 高齢、身体上又は精神上の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する者をいう。

二 ヤングケアラー ケアラーのうち、十八歳未満の者をいう。

三 関係機関 介護、障害者及び障害児の支援、医療、教育、児童の福祉等に関する業務を行い、その業務を通じて日常的にケアラーに関わる可能性がある機関をいう。

四 民間支援団体 ケアラーの支援を行うことを目的とする民間の団体をいう。

（基本理念）

第三条 ケアラーの支援は、全てのケアラーが個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができるように行われなければならない。

二 ケアラーの支援は、県、市町村、事業者、関係機関、民間支援団体等の多様な主体が相互に連携を図りながら、ケアラーが孤立することのないよう社会全体で支えるように行われなければならない。

三 ヤングケアラーの支援は、ヤングケアラーとしての時期が特に社会において自立的に生きる基礎を培い、人間として基本的な資質を養う重要な時期であることに鑑み、適切な教育の機会を確保し、かつ、心身の健全な成長及び発達並びにその自立が図られるように行われなければならない。

（県の責務）

第四条 県は、前条に定める基本理念（第六条第一項及び第七条第一項において「基本理念」という。）にのっとり、ケアラーの支援に関する施策を総合的かつ計画的に実施するものとする。

二 県は、ケアラーの支援における市町村の役割の重要性に鑑み、市町村がケアラーの支援に関する施策を実施する場合には、助言その他の必要な支援を行うものとする。

三 県は、第一項の施策を実施するに当たっては、市町村、事業者、関係機関、民間支援団体等と相互に連携を図るものとする。

（県民の役割）

第五条 県民は、ケアラーが置かれている状況及びケアラーの支援の必要性についての理解を深め、ケアラーが孤立することのないよう十分に配慮するとともに、県及び市町村が実施するケアラーの支援に関する施策に協力するよう努めるものとする。

（事業者の役割）

第六条 事業者は、基本理念にのっとり、ケアラーの支援の必要性についての理解を深め、その事業活動を行うに当たっては、県及び市町村が実施するケアラーの支援に関する施策に協力するよう努めるものとする。

二 事業者は、雇用する従業員がケアラーである可能性があることを認識するとともに、当該従業員がケアラーであると認められるときは、ケアラーの意向を尊重しつつ、勤務するに当たっての配慮、情報の提供その他の必要な支援を行うよう努めるものとする。

ケアラー実態調査 (①9月回収 ②10月回収)		
調査対象	①高齢者等の介護者 ②障害者等の介護者	約1,500人 約1,300人
調査方法	①県内地域包括支援センター ②県内介護者サロン ③障害者相談支援事業所等 ④家族の会等関連団体	283箇所 34箇所 441箇所 21団体
調査項目	選択式24問、記述式1問	

ヤングケアラー実態調査 (9月回収)		
調査対象	県内高校2年生	約55,000人
調査方法	①県内各高校に送付し回答を依頼 ・県立139校・市立5校 ・私立48校・国立1校 ②スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー等 (実施中)	
調査項目	選択式17問、記述式2問	

4 第十条の広報および啓発について

(1) 情報発信の強化について

3月の条例制定により、本格的な有識者会議が6月と8月に開催され傍聴させていただきました。とても活発で有意義な内容でした。一番印象的だったのは、私も含めて傍聴者が真剣だったことです。注目しているのです。

ちなみに8月の「24時間テレビ」でもヤングケアラーが取り上げられています。全国に先駆けて取り組んでいるこの状況をもっと積極的に発信するべきです。

実はこれまで、6月議会、9月議会の時に全国の議員さんから私のもとへ問合せがありました。埼玉ではどんな状況になっているの



第2回有識者会議の様子

か？うちの議会でも質問してみたいか？このような質問が多かったのをまとめた「ケアラー新聞」を独自に作成中です。

また、今回の一般質問も事前にSNS上で質問事項をすべて公開しました。現場の苦勞と不安を伺い、より一層の自己啓発と社会啓発が必要だと痛感しました。

そこで、社会全体でケアラー支援の啓発に取り組むために、全国に先駆けて「ケアラー週間」を創設することはいかがでしょうか。

先日、地元からケアラー支援について研修をしたという依頼をいただきました。今後、市町村に対して

(2) ケアラー週間の創設について

先日、精神障害者家族会連合会の方から、お話を伺う機会がありました。「家族自身が差別や偏見を持っている」「知られたくないと隠している」そして面倒が見れなくなるぎりぎり

で、これからどうすればいいか打ち明けてくださるそうです。改めて、現場の苦勞と不安を伺い、より一層の自己啓発と社会啓発が必要だと痛感しました。

先日、精神障害者家族会連合会の方から、お話を伺う機会がありました。「家族自身が差別や偏見を持っている」「知られたくないと隠している」そして面倒が見れなくなるぎりぎり

は、①ケアラーをケアすることが重要であること。②断らない、総合的な相談窓口が必要であること。③アセスメントが重要であること。これらの必要性を伝え、アドバイスできる人材が必要。

先日、地元からケアラー支援について研修をしたという依頼をいただきました。今後、市町村に対して

5 第十一条の人材育成について

(1) 市町村における人材育成の支援について

先日、地元からケアラー支援について研修をしたという依頼をいただきました。今後、市町村に対して

は、①ケアラーをケアすることが重要であること。②断らない、総合的な相談窓口が必要であること。③アセスメントが重要であること。これらの必要性を伝え、アドバイスできる人材が必要。

さらに、複数のモデル市町村も作るべきと考えます。そこで、市町村をバツクアップする県の相談窓口や、アドバイザーやコーディネーターなどの人材育成が必要。

これらをどのように進めていくのか、さらにケアラー支援の県外も含めた出前講座の創設も併せて、福祉部長にお伺いします。

先日、地元からケアラー支援について研修をしたという依頼をいただきました。今後、市町村に対して

(関係機関の役割)

第七条 関係機関は、基本理念にのっとり、県及び市町村が実施するケアラーの支援に関する施策に積極的に協力するよう努めるものとする。

2 関係機関は、その業務を通じて日常的にケアラーに関わる可能性がある立場にあることを認識し、関わりのある者がケアラーであると認められるときは、ケアラーの意向を尊重しつつ、ケアラーの健康状態、その置かれている生活環境等を確認し、支援の必要性の把握に努めるものとする。

3 関係機関は、支援を必要とするケアラーに対し、情報の提供、適切な支援機関への案内又は取次ぎその他の必要な支援を行うよう努めるものとする。

(ヤングケアラーと関わる教育に関する業務を行う関係機関の役割)

第八条 ヤングケアラーと関わる教育に関する業務を行う関係機関は、その業務を通じて日常的にヤングケアラーに関わる可能性がある立場にあることを認識し、関わりのある者がヤングケアラーであると認められるときは、ヤングケアラーの意向を尊重しつつ、ヤングケアラーの教育の機会の確保に努めるものとする。

2 ヤングケアラーと関わる教育に関する業務を行う関係機関は、支援を必要とするヤングケアラーからの教育及び福祉に関する相談に応じるとともに、ヤングケアラーに対し、適切な支援機関への案内又は取次ぎその他の必要な支援を行うよう努めるものとする。

(ケアラーの支援に関する推進計画)

第九条 県は、ケアラーの支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画(以下この条において「推進計画」という。)を策定するものとする。

2 推進計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

一 ケアラー及びヤングケアラーの支援に関する基本方針

二 ケアラー及びヤングケアラーの支援に関する具体的施策

三 前二号に掲げるもののほか、ケアラー及びヤングケアラーの支援に関する施策を推進するために必要な事項

3 県は、推進計画を定め、又は変更したときは、遅滞なくこれを公表するものとする。

(広報及び啓発)

第十条 県は、広報活動及び啓発活動を通じて、県民、事業者及び関係機関が、ケアラーが置かれている状況、ケアラーの支援の方法等のケアラーの支援等に関する知識を深め、社会全体としてケアラーの支援が推進されるよう必要な施策を講ずるものとする。

(人材の育成)

第十一条 県は、ケアラーの支援の充実を図るため、相談、助言、日常生活の支援等のケアラーの支援を担う人材を育成するための研修の実施その他の必要な施策を講ずるものとする。

(民間支援団体等による支援の推進)

第十二条 県は、民間支援団体その他のケアラーを支援している者が適切かつ効果的にケアラーの支援を推進することができるよう情報の提供、助言その他の必要な施策を講ずるものとする。

(体制の整備)

第十三条 県は、ケアラーの支援を適切に実施するため、ケアラーの支援に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な体制及び県、市町村、関係機関、民間支援団体等の相互間の緊密な連携協力体制の整備に努めるものとする。

(財政上の措置)

第十四条 県は、ケアラーの支援に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この条例は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。



ケアラー手帳

意見が多いです。特に、ヤングケアラーは自分の置かれた立場に気づきにくく、また我慢し、知らず知らずのうちに生活や人生に影響を受けてしまっている。まず自分がケアラーだと気づく、孤立させない、スムーズに専門職とコミュニケーションが取れるツールとして活用します。

さらに深掘りすると、ヤングケアラー以外の子どもたちにもこの手帳を通じて認識してもらおうとです。そうです、**福祉教育**です。

皆さんは「きょうだい児」をご存知でしょうか。障がいや病気を持った子どもの兄弟姉妹のことを言いますが、その子どもたちは、障がいや病気を持った子どもを中心の家庭で、我慢や複雑な気持ちを抱えています。兄弟の障がいを恥ずかしいと思ってしまう。また、そう思ってしまう自分を責めてしまう。先生や友達に



「田村淳の訊きたい放題！」にて

相談しづらい。皆さんは想像できますでしょうか。先日もタレントのロン・ドンブーツ1号2号の田村淳さんの番組「田村淳の訊きたい放題！」でも特集されていました。

私たちの分からないところで苦労や偏見があるのです。まずはその存在

を知ること、他人事ではないこと、そして「新しい世界がひろがること」を教えることです。埼玉県が全国に先駆け、ケアラー支援のため、さらに子どもたちへのケアや共生社会の教育のために、手帳の作成に取り組みベキと考えますが福祉部長のご見解を伺います。

⑥第十三条の体制の整備について

ここでのポイントは2つ。1つ目は、縦割りにならないこと。2つ目は、市町村との連携。

そもそも、なぜ縦割りがダメなのか。知事がよくおっしゃる県民目線、これがないからです。縦割りは、対象を分けてしまう。子どもたちで言えば、教育と福祉に断、その子全体を見えない。医療で言えば、疾患を抱えている箇所によって医師が変わるので、その人全体を見ていない。そして、ケアの現場で言えば、介護されている人だけを見てきたので、ケア全体、ケアラーの存在を見れていない。これはあらゆる業務に通じます。ではどうすればいいのか。もっと、地域と現場

に出て、実際に活動を共にすることだと思えます。そうした職員はアイディアが豊富になり、市町村とも自然と連携できるでしょう。

議員の中には、私のようにお坊さんであったり、農業に従事されている議員もいますが、今後は公務員の方も、NPO、農業、地域活動など、多様に働きマルチでスペシャルな人材として活躍する時代です。

さらに、人材育成で言えば出向です。最近ではドラムの影響で左遷のようなイメージもありますが、ここでは良い意味での民間出向。埼玉県庁では、全出向者389人中11人が民間に出向しています。全体の0.16%に過ぎない。しかも、現状は外郭団体などと同業種間がほとんどです。県民が主語、経営感覚、スピード感、コスト意識など、どれをとっても民間の発想がもつと必要です。

民間を知る職員がいれば、土日も開庁できる仕組みをつくるでしょう。福祉の現場をよく知る職員がいたら庁舎に笑顔が増えるでしょう。庁舎の建て替えという課題が目の前にある私たちは、150年の県庁組織の歴史を踏まえ、100年先を見据えて、哲学とビジョンを持って取り組まなければなりません。



150年の節目を迎える埼玉県庁

あえたら、新しい世界がひろがる。」これからケアラー支援を通じて、共生社会の素晴らしさを県民皆さんと享受していただけると思います。

以上が質問の全文です。ご意見やご質問などございましたら、遠慮なくお問合せください。

・全国初の大規模な実態調査 結果発表

埼玉県の高校2年生 25人に1人がヤングケアラー

・法制化に向けた取り組み

・精神障害者とその家族が抱える問題



ケアラー新聞の電子版はこちらよりご覧ください。

Next Topic

ケアラー新聞

Vol.
02

2021年 3月号

本紙は、ケアラー(無償で介護や看護などをする人)に関する情報をわかりやすく発信する新聞。
発行責任者は「ケアラー支援条例」提案者代表・吉良英敏(埼玉県議会議員)。

Topics

特集

P2・3……[ケアラー当事者インタビュー①]
病気の子どもとその家族編
P4・5……[ケアラー当事者インタビュー②]
精神障害者とその家族編

P6………埼玉県ケアラー・ヤングケアラー
実態調査 結果報告
P7・8…… 国に法制化を提言
／編集者コラム



認定NPO法人病気の子ども支援ネット(ガラガラドン)の坂上和子さんに遊んでもらう、和田さんの娘さん(写真提供:和田芽衣さん)⇒P2・3に掲載

※子どもの心身の発育には「遊び」が欠かせません。坂上さんは、入院中の子どもとベッドサイドで遊ぶ活動を続けておられる日本の病児ボランティアのパイオニア。病児ケアラーにとってはヒーローのような存在です。

【2021年度埼玉県当初予算よりケアラー関連の項目のみ抜粋】

分類	具体的な中身	予算額
ケアラー支援	ケアラー支援普及啓発 ケアラー月間の創設、フォーラム開催 ハンドブック・啓発リーフレット作成配布	1,305万4千円
	地域での居場所づくり促進 介護者サロンの立ち上げを支援	44万6千円
	市町村等支援 相談支援体制の強化	463万7千円
	ケアラー入院時等の要介護者受入施設の運営	6,276万4千円
	ケアラー支援有識者会議	30万9千円
	障害者地域支援体制整備	124万6千円
地域で暮らす 障害児者・ ケアラーの支援	レスパイトケア※受入促進	8,900万0千円
	コーディネーター養成研修	169万0千円
	医療的ケア児者受入設備整備 医療的ケア児者支援従事者養成研修	150万0千円 150万0千円
チーム オレンジ 構築支援	「チームオレンジ」構築支援 地域において認知症の人やその家族と認知症サ ポーターをつなげる仕組み(チームオレンジ)の構築	865万6千円
	認知症本人大使「埼玉県希望大使」任命事業	22万0千円
ヤング ケアラー支援	ヤングケアラー支援事業 オンラインによるサロンを開設	170万9千円
	ヤングケアラーサポートクラス(YCSC) 学校で元ヤングケアラーや専門家等を講師とする 講演会(出張授業)を開催	143万9千円
合計		1億8,817万円

※レスパイトケア…介護者が一時的に介護から離れて休息を取れるようにする支援

全国初の
予算化!

ケアラー・ヤングケアラー 支援策が本格的にスタート

2020年3月に制定された「埼玉県ケアラー支援条例」をもとに、本格的な実態調査と有識者会議が行われ、約1年をかけて、条例に規定された「ケアラー支援計画」の策定に取り組んできました。今年1月から行われた支援計画に関する意見募集(パブリックコメント)には、約100名の方から300件以上の意見が寄せられ、それらを反映させながら、今年2月に「ケアラー支援計画」が完成しました。

この計画に沿って予算化され、いよいよ全国に先駆けて本格的なケアラー支援が始まります。

今回、2021年度の当初予算に組み込まれた、ケアラー支援事業を左の表にまとめました。多くが新規の事業となっており、合計で2億円弱の予算にて、ケアラー支援策を実現できるようになりました。

なお、有識者会議は、計画の進捗確認とよりきめ細かい支援策を講じるため、今後も継続して開催していく予定です。

また今年、県内外の市町村に対し条例化や推進計画、具体的支援策策定のサポートをしていきます。そして国に対しては法制化に向け一層働きかけをして参ります。(文・吉良英敏)

「病気や障害があっても大丈夫」と思える社会へ



和田芽衣さん(ニモカクラブ代表)と。笑顔の奥に芯の強さを感じました。

ニモカクラブ

埼玉県飯能市を中心に活動する、病気のこどもと家族の会。「子の成長を喜び、苦勞を分かち合い、ホッと一息つける場を作りたい」という思いから、和田さんが2015年に設立。

おどる太鼓クラブ

同市で活動して21年。障害をもつ子どもと保護者、支援者が、和太鼓、歌、踊り、篠笛などを楽しみながら活動する会。自立と社会参加、市民に障害を理解してもらうことが目的。

埼玉県は2020年3月、全国初の「埼玉県ケアラー支援条例」を制定。有識者会議を設け、具体的な推進計画を策定し、少しでもケアラーに寄り添った内容となるよう検討を進めています。計画の策定にあたり、様々な理由で介護や看護をされているケアラーの方々にお話を伺いたいと考えました。今回は、病気の子どもとご家族への支援についてアドバイスを頂くべく、「ニモカクラブ」代表・和田芽衣さんにお話を伺いました。(聞き手・

支援も情報も足りない

吉良 おかげさまで「ケアラー支援条例」を制定することができましたが、今後どう施策を推進していくかがさらに重要です。今日伺ったお話から、具体的な支援計画につなげたいと考えていますので、今日はよろしくお願ひします。

ホッと一息つける場所を

吉良 お仕事を辞められてから、どういう経緯でニモカクラブを設立されたのですか。
和田さん 退職後は、重い知的障害を持つ我が子と過ごす中

で、将来のビジョンが全く見えなく、鬱々としていました。

そんな時に訪れたのが「にこにこハウス」さん(埼玉県飯能市にある心の病などを持つ人が働くレストラン)でした。お店に入ると、「いらっしやいませー!!」って、一体誰に障害があるのかわからないぐらいの元気を注いでくれた。あ、決して不幸ではない」と、言葉ではなく肌で感じ、娘の病気がわかって以来、初めて希望を持てた瞬間でした。

また当時、私は子どもを抱えながら、市内のカフェを転々としていました。そこで出会ったのが、今日も同席していただいている「おどる太鼓クラブ」の小谷野さんや、育成会(障害がある子どもの保護者の団体)さん、コミュニティソーシャルワーカーさん他、地元福祉関係の方々がいます。

皆さんに励まされていたことが、現在の活動を始めるきっかけとなりました。似た境遇の先輩方や専門家の方々と出会う中で、家族でなくとも我が子を愛してくれる方々がこの地にいるのを実感し、大丈夫だという安心感や確信を持つことができたのです。

当時の私が求めていたのは「安心して子を連れて遊びに行ける場所」と同じような子育てをする仲間との出会いでした。それを実現できるような「ホッと一息つける場所」として、2015年にニモカクラブを立

ち上げました。

吉良 ニモカクラブではいろいろなイベントを開催されているんですね。

和田さん はい。病気のお子さんやきょうだいはボランティアと楽しく遊び、その間保護者の方はおしゃべりを楽しんでもらう「スベシャルキッズカフェ」や、病気の子どもそうでない子どもと一緒に楽しめるワークショップなど、多彩なイベントや勉強会を開催しています。

私は写真家でもあるので、ピジュアルからわかりやすく伝えるのが私の使命だと思っています。写真から関心を持っていただけて、共に語り合うというか、そこから生まれるものを大事にしたいなど。ニモカクラブもおどる太鼓クラブも、作っているのは「つながる場」であり、ただの余暇じゃない。生きるために必要な場所です。各地にそうした場が増え、選択肢が増え、そしてその活動が地域で守られ続けていくことを願ひします。



「にこにこハウス」さんの日替りランチは、懐かしく温かい味がします

必要なのは場所と資金

吉良 ニモカクラブさんのような地域活動が継続できるような、どのようなサポートがあったらいいと思いますか。

和田さん 私が県に望むのは、活動が安定して継続できる場所と資金です。

まず場所についてですが、拠点は大事だと思います。障害者交流支援センターがさいたま市にあります。飯能市から行くと2時間かかります。プールもあって立派な施設なのに遠い。川越市あたりに西の拠点が欲しいです。埼玉県の東部と西部では、病院や療育施設の数など難病に関する課題が全然違うんです。

小谷野さん 川越市にも「オアシス」(総合福祉センター)があるんですけど、川越市民のためのもので、県の施設が西部地区にあるといいですね。

和田さん してもう一つ必要なのは活動資金です。非営利活動の大きな課題ですが、県の助成金ではボランティアに謝金を出せませんが、事務局スタッフには出せません。活動の軸になっていく人を守るには、ある程度の経費や人件費が必要です。

私たち子育て世代は、障害の有無に関係なく、人生で最もお金が必要な時期です。そんな時に、非営利活動を行うことに家族もいい顔をしてくれないこともあります。「え、0円?」みたいな。

余裕のある家庭だけがアクションを起こすのではなく、より幅広い方々が活動に参加しやすくなるように、「お金がもらえるのであれば好きにしなさい」と家族に言ってもらえるような環境が理想的です。病気や障害団体の多くは人生の時間とお金を削って、ボランティア精神で成り立っているけれど、それでは潰れてしまいます。

吉良 それが当たり前という風潮が良くないですよ。これまで日本社会は身内や家族で見るのが当たり前という感覚でしたから、なおさらですよ。

和田さん 私は、こういった活動も社会を豊かにしていく大事な役目を担っていると思っていまですが、「無償ボランティア・余暇」といった形で扱われてしまう。時代も変わってきているし、働く世代、子育て世代の人がアクションを起こすためには、資金面の援助が必要です。そこが担保されれば、アクションを起こす人もっと増えると思います。

吉良 当事者が仕事として活動できる仕組みが必要ということでしょうか。

和田さん はい。当事者の仲間や先輩は、同じ苦労をしているという信頼感があり、明日から使える生きた情報を教えてくれます。ただ境遇が似ているというだけでは仕事にならないのから、積極的に研修を受け、アドバイザーやカウンセラーとして



社会福祉法人はなみずき会と実施した共同事業・病児家族の就労支援

当事者を活かす制度を作るのはどうでしょうか。当事者という偶発的な運命を背負った人たちが、有償でその経験を活かせる社会になつたらいいですね。

それと、県が非営利団体のための経営教室を開催するというのはいかがでしょうか。経営を知らない普通のお母さんたちに、どのように入力金をもらい、行政に報告文書を出すかなどをレクチャーしたら、活動を立ち上げるハードルが下がると思っています。

コミュニケーション スキル研修の必要性

吉良 場所と資金以外には、どんなものが必要でしょうか。

和田さん 「コミュニケーションスキル研修」ですね。これは、国が医療スタッフに対して行っている研修で、知的障害の人たちへの声掛けの仕方などを学ぶものです。娘は注射で泣かなくても、視力検査で泣いていました。なぜなら、視力検査では繰り返し答えられない質問を投げかけられるからです。検査技師によってはあからさまに苛立った態度をと

ります。娘はそれを感じて泣いているようでした。その様子を見て、私も悔しくて泣きました。

病院が行きたくない場所になつちやだめ。それが積み重なると、病院に行きたくない大人になるので、病気の早期発見も図られませんが、病院側も障害者と接する機会が増えません。そうすると、医療者の技量も上がらなくなります。

すでに医療スタッフに対して実施できているのだから、学校の先生など、普段子どもに関わる人たちにもぜひコミュニケーションスキル研修を実施してほしいと思います。学校と地域と病院がもう少しスムーズに結びついてほしいですね。

小谷野さん 「うちの子は心配な面があると思いつつ、誰にも相談しないまま大人になり、やっぱり違うと気づいた時に、医療にかかっている慌てた」というケースがあるようです。だから、大人も子どもも病院に行きやすい環境が必要。親も子ども病院に懲りてしまうのが一番良くない。行ってもだめだと思つたら次は行かないと思います。

和田さん 本当に、もつと言うと、障害児のためではなく、子どもを伸ばすという意味で、保育士さんが一人一人を伸ばす関わりをするような、真のコミュニケーションも必要だと考えています。ただ、早期発見・早期療育は叫ばれているけれど、受け皿がまだ少ないのも現状。児童精神

の専門家が少ないですね。乳幼児健診で指摘されても、1年待ちもざらなんです。

障害を理由にチャンス 奪われてはならない

吉良 安心して介護や看護ができる社会には、まだ程遠いというのが現状でしょうか。

和田さん 障害者と障害児の家族は、ケアをしないといけない。私みたいに預け先がなくて、キャリアを諦めざるを得ない家庭もあります。障害があるというだけで、他の健康的な家庭の人が得られているチャンスを、障害者も家族も奪われてはならないというのが基本原則だと思います。

もちろん、障害者が縁で出会った方々とのつながりは宝物です。けれど、障害者にも家族にもきょうだいにも、人生の選択肢を狭めるようなことがあってはならない。そこを守るための制度や文化が必要です。

障害者本人ときょうだいの意思決定支援の部分も法律でどう守っていくか。学校でも、どんな言葉が出るのが遅くても、障害が重くとも、一人一人の個性をどこまで尊重できるか。その子の力をどこまで伸ばしてあげられるか。たくさんの方々からの適切な声掛けや関わりがあつてやっと成り立つものだと思います。

これから障害のある子を産み育てる家庭が「障害があっても大丈夫」「障害があるけどみんなと一緒にやっついていけるじゃん！」

と思える社会にしたいです。

吉良 本当ですね。私たちがやるべきことがまだまだありそうですね。

和田さん 長女が10か月の時に、治療のため3か月間入院しました。クリスマスと年末年始を季節感のない病棟で過ごし、無性に四季や自然を感じたくなりました。娘が3歳くらいになつて、成長し始めたことを感じた時に「あ、やつと芽吹いた」と思っただけです。この時から、障害児者という人たちは私にとって自然のような存在だと感じるようになりました。じわじわと、試行錯誤の中で育つていく。のんびりした子育てだけれど、健常児ではなかなか経験できないはずなんです。本来の人の生き方のペー

スを教えてくれるような気がしたので。

吉良 社会全体で支援する空気をつくる。そのために、これまで知らなかった存在とわかり合うことで、素晴らしい社会になるんだという価値観を共有できるようにしたいです。



病気を持つ子の就学に関する勉強会を開催

ケアラー？ とは

こころやからだに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人のことです。



障害をもつ子どもを育てている



健康不安を抱えながら高齢者が高齢者をケアしている



仕事と介護でせいっぱいほかに何もできない



仕事を辞めてひとりで親の介護をしている



遠くにひとりで住む高齢の親が心配で頻りに通っている

差別や偏見を越え、理解とつながりを



埼玉県精神障害者家族会連合会会長 岡田久実子さんと。

埼玉県精神障害者家族会連合会

略称:埼家連、通称:埼玉のぞみ会。医療・就労・人権などあらゆる面で、精神障害者とその家族が暮らしやすい地域社会システムづくりを目指す。また、家族同士の情報交換や親睦を深める会。

動に関わって18年。今は埼玉県精神障害者家族会連合会の会長と、2020年から全国組織の理事長をしています。

根強く残る「保護者制度」

吉良 まず、精神障害者とその家族にとつての、現状と課題について教えてください。

岡田さん 精神障害者家族の一番の特徴は、「保護者制度」です。

「保護者制度とは」「保護者」は、精神障害者に必要な医療を受けさせ、財産上の保護を行うなど、患者の生活行動一般における保護の任に当たらせるために設けられた制度。

前頁に引き続き同様の趣旨で、今回は、精神障害者とそのご家族への支援についてアドバイスをいただきたいと思い、埼玉県精神障害者家族会連合会会長の岡田久実子さんにお話を伺いました。(聞き手・吉良英敏、同席者・ケアラー関連団体Aさん、対談日・2020年11月16日)

思い出したくない経験

吉良 これまで大変苦労されてきた精神障害者家族の皆さんに、ケアラー支援としてできることがあるのではと考えています。改めてよろしくお願ひします。

岡田さん こちらこそよろしく

お願いします。

現在42歳になる娘が、統合失調症を発症して20年になりました。発症当時、私は保育士の仕事をしており、園長という立場で事をしており、園長という立場でした。仕事も手を抜けず、家では娘のケア。娘は訳のわからないことを言っていて泣き叫ぶことがあったり、信頼していた精神科医から冷たく突き放すような言葉を言われたり、本当に思い出したくないような経験をしてきました。とてもつらかった時、たまたま知り合いを通して地元の家業と出会い、私と同じような経験をしている人、もっと大変な思いをしている人がたくさんいるとわかりました。そこから家族会活

族にあると法律で定義づけられてきたので、精神科病院の文化として未だに根強く残っています。

また、「精神障害者への差別・偏見」という心理的な課題もあります。家族は自分の身内に精神障害者がいることをなるべく隠したい、本人も病気や障害を認めたくない、医療や支援を拒否する状況に陥ります。病気についての正しい情報を得にくいので偏見が強まり、困っている人ほど地域で孤立していきます。

実態がわからない

吉良 埼玉県の規模ですと、どのくらいの人数の方が、どのような困っているのでしょうか。

岡田さん 統合失調症だけでも、100〜120人に1人発症すると言われており、大変多いです。それ以外の精神疾患も加えると、本当に多くの方たちが、どこもつながらずに家族だけで抱え、頑張っている。閉じた家庭の中で「人生が思うようにいかないのは親のせいだ」と、暴言暴力が繰り返されるなど、家庭内で事件が起きています。家庭内殺人のニュースを耳にする度に「精神疾患が絡んでいるのでは」と想像してしまいます。

家族会では、電話相談などの相談窓口を作っていますが、80歳過ぎのお母さんから「今まで精神障害の娘をなんとか見てきましたが、自分も明日どうなるかわからない。2人揃って施設に入

れませんか？」と相談が寄せられました。最近話題になっている8050問題(80代の親が50代の引きこもりの子の生活を支えなければならぬ状態)は実際に起きています。

Aさん 実数を把握するには保健所や通院履歴で捉えていくしかないですね。保健・福祉・医療につながっていれば把握できるのですが…。

岡田さん さいたま市の元保健師さんの話ですが、高齢者の家庭訪問に行った時、もう一人いる…と気づいて会う機会を作ってもらったら、その人は会話ができなかったそうです。50代の男性で、人と全く関わらない生活だったため、言葉を忘れていたんです。

精神障害者の親は高齢者が多いです。精神障害の場合は思春期や成人になってから発症し、長い年月にわたって病気の子どもと向き合うため、気付いた時にはもう高齢者。家族会の平均年齢はとも高く、90代の方が会長の家族会もあります。そのため、家族会活動を運営していくのも容易ではありません。

まずは医療につなぐ

吉良 精神疾患の場合は、病院に行くまでも大変と聞きます。

岡田さん 娘が発症した時は、泣き叫びから始まり、どうしちゃったの…という感じだったので、早い時期に医療につなげられ



家族会との出会いで元気になった体験を綴った書籍を発行

ました。ですが、引きこもるような形で病気が始まると、病気がだど気づくまで長いと数年かかります。いよいよ病気がわかって医療につなげなければと思った時に「自分はそんな病気がじゃない。病院に行きたくない」と拒否されると、医療につなぐのが難しく、苦勞する家族が多いです。

暴れられたり騒がれたりするのは怖いし、ご近所への迷惑も考えると、無理やり連れていくのは厳しい。病院や保健所に相談しても、「本人を連れてきてくれな」と何もできません」と言われてしまいます。では家族がどうするかというと、移送業者に依頼し、安くて10万円、高いと数十万円〜100万円ぐらいを支払って、病院に連れて行ってもらう。そういう手段を取らざるを得ないのが実情です。

吉良 民間の会社ですか？

岡田さん 民間です。ただ、そうすると本人から恨まれる。「お前のせいであんなところに入られた」と。拘束したり個室に閉じ込めたりする病院もあるので、「二度と病院なんて行きたくない」と、また医療から離れて引きこもる悪循環。やっと治療が開始できても、そこから長い。娘も、なんとか地域で生きていけ

と思えるところまで10年かかりました。2度再発もしました。

吉良 医療にすぎなくとも、治療の期間も、長い時間がかかるということですね。

岡田さん そうなんです。本人も家族も、病気を理解するのに時間もかかります。それは、病気の情報を正確に教えてくれる病院が少ないからです。娘の場合は「薬を飲んでいけば大丈夫」と説明されただけで、家でどう過ごせばいいか教えてもらえなかった。それでは本人も家族も不安が募り、混乱します。病院でなくても、正しい情報が提供され、家族が安心して本人を支えられる仕組みが必要です。

ちなみに、イギリスでは、家族会のような組織が、病院の中に家族相談室を作つて、そこで家族の話聞いてケアしています。日本には「みんなねつ」という家族会の全国組織（1200の家族会、約3万人の家族が全国で活動）があるので、病院と連携して、イギリスと同じような支援ができたらと思います。

海外のアウトリーチ体制

Aさん イギリスにはケアラー支援法がありますよね。人権意識が高いので、家族の一人一人の人権を大切にしていますね。

これからは孤立する家族を放置せず、積極的に支援を届ける仕組みが必要だと思います。家族全員を支援対象にする、アウトリーチ体制の整備を検討するのはどうでしょうか。

アウトリーチとは…支援が必要であるにも関わらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報と支援を届けること。

岡田さん アウトリーチとして私たちが最初に学んだのは、アメリカで開発された、ACTでした。医師、福祉の専門家（精神保健福祉士）、作業療法士、薬剤師など、いろいろな職種の人がチームを組んで、地域で生活する重度の精神障害者を支援する仕組みです。病気が発症した時点で連絡すると、チームが訪問して治療してくれる。やがては自分の力で地域とつながりながら生きていくところまで支援してくれます。

Aさん イギリスで興味深かったのは、メリデン版訪問家族支援（イギリス・メリデン地方で開発されたファミリーワーク）です。本人・家族・支援者の三者協働を目指しており、統合失調症などの診断がつくと特に初期の支援を行うそうです。半年から1年の間に10回から15回、訓練を受けた専門職が家庭を訪問して、個々の家族員のアセスメント（情報収集や評価）と目標設定、コミュニケーションスキルのトレーニング、家族ミーティング等を、本人も家族も一緒に行います。例えば、なぜアルパイトに行けなくなったのかとか、具体的な問題に支援者と家族が取り組んで、だんだん自分たちで解決できるようになることを目指します。第三者が入ること

によって、家族同士の会話も成り立つようになり、成果も上がっているそうです。

「生きる」という視点

岡田さん 日本の医療においては、病気の人が「生きる」という視点が考えられていない。悪い所だけを治療する。その人は病気を抱えながら生きていくのに、生きることに何の何の情報がない。病状が安定したら多くの場合、当たり前のように家族のもとに退院します。そうすると、家族はどうすればいいかわからないから、偏見も気にして問題を抱え込み、親子で高齢化してきます。「息子や娘の人生どうなるの」と思い悩みながら。

吉良 以前、ケアラー週間を創設して啓発したいとお伝えした時、「社会的啓発と自己啓発の両輪が必要で、当事者自身も変わらないといけない」とおっしゃられていたのが心に残っています。

岡田さん 自己啓発の重要な活動として、「家族による家族学習会」プログラムを専門家と共に立ち上げました。当会では、埼玉県ピアカウンセリング事業と



孤立した家族を迎えて、テキストをもとに個々の体験を語り合う「家族による家族学習プログラム」

して2009年から取り組んできています。テキストを読みながら内容に沿った想いや体験を語り合い、進んでいく学習スタイル。心が傷付いた家族がさらにその場で傷付くことなく、元気を取り戻し、どう「生きる」かも考えていきます。現在は統合失調症の家族心理教育用テキストを使っていますが、使用するテキストを変えることで、発達障害や鬱、認知症の方たちなど、対象を広げられるプログラムだと思います。

早期に精神疾患教育を

吉良 精神障害のことを本当に理解している人は少ないと感じています。議員は駅に立つ機会が多いのですが、大きい声を出す人に会うことも多いです。数年前に立っていると触れ合う機会も増えて、少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。

岡田さん 街中で大きな声を上げていたりすると、精神障害者だとわかりますよね。逆に、そういうイメージがついていて、大変なところしか見えていないのではないでしょうか。でも環境が整えば、仕事や結婚、子育てをしている人もいます。そのあたりを正しく理解してほしいと思います。

Aさん 義務教育の中で精神疾患教育を実施することについては、どう思われますか？

岡田さん 高校の授業では、2022年度から保健体育に精神疾患の項目が設けられます。やっぱり遅いと思つています。小学校中学年くらいから少しずつ情報を伝えてほしい。これは、中学生で発症する子が多いからです。お会いした中で一番年齢が低い子は8歳でした。

Aさん 思春期は精神疾患が発症しやすい、三重大学による思春期の若者の心の不調に関する調査では、思春期精神病様体験者が15%いることがわかっています。ニーズの最も高い若年層（12〜25歳）の精神疾患を早期に発見し、タイムリーに支援を開始すれば、その後の症状をより良好にし、自殺を含む個人的・社会的・経済的損失を最小限に留められることも明らかになりました。

吉良 そのあたりの啓発、教育は大切ですよね。医療や専門職への連携、家族をフォローする体制、心の距離を縮める教育。今日は具体的な解決方法を示していただき、ありがとうございます。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

ヤングケアラーとは？

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。ケアが必要な人は、主に、障がいや病気のある親や高齢の祖父母ですが、きょうだいや他の親族の場合もあります。

がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

「埼玉県ケアラー・ヤングケアラー」実態調査結果報告

2020年11月25日
報道発表資料より

高校生25人に1人がヤングケアラー

実際にケアラーは何人いるのか。実はわかりません。正確に把握できていないのです。しかし、具体的な施策を行うためには、予算規模を決めなければならず、まずは実態把握が必要です。全国初の行政による本格的な実態調査は、2020年7月から10月にかけて県内で実施しました。この調査は、埼玉県ケアラー支援条例第9条に基づき、ケアラーの支援に関する推進計画を策定するにあたり、ケアラーのケアの状況、ケアによる影響、支援のニーズ等を把握し役立てるものです。

まず、ケアラー調査では、県内の地域包括支援センターと障害者相談支援事業所でアンケートを実施し、約1500人から回答がありました。ケアラーの性別は女性が7〜8割を占めていること、1日8時間以上ケアしている人が2〜3割いること、代わりにケアを担ってくれる人が「いない」人は約3割もいることなどがわかりました。

続いてヤングケアラーの調査は、県内すべての高校2年生にアンケートを実施しました。193校・約5万5000人を対象とし、約90%から回答があ

りました。そこでわかったのは、「ヤングケアラー」に当たる割合は4.1%で、25人に1人にも上ることです。ケアによる生活への影響（複数回答可）に関しては、「孤独を感じる」が19%、「ストレスを感じる」が17%、「勉強時間が十分に取れない」が10%など、自らの体調や学習に影響が出ている実態がうかがえます。核家族化が進む中で、介護や看護に関するしわ寄せが、子どもたちに及んでいます。

この調査により、どこにどれくらいの支援が必要か、専門職がどれくらい必要かといった規模感を、ある程度掴むことができました。この結果を踏まえて、より効率的な施策に繋げて参ります。

以下は、埼玉県が実態調査の結果をまとめたものです。調査期間は、ケアラー実態調査・2020年7月〜10月。ヤングケアラー実態調査・2020年7月〜9月。調査結果の詳細は左記QRコードのページに掲載しています。



埼玉県ケアラー支援計画のための実態調査の結果について

ケアラー調査結果

調査対象：A 地域包括支援センター(回答者数1,022人) B 障害者相談支援事業所(回答者数448人)

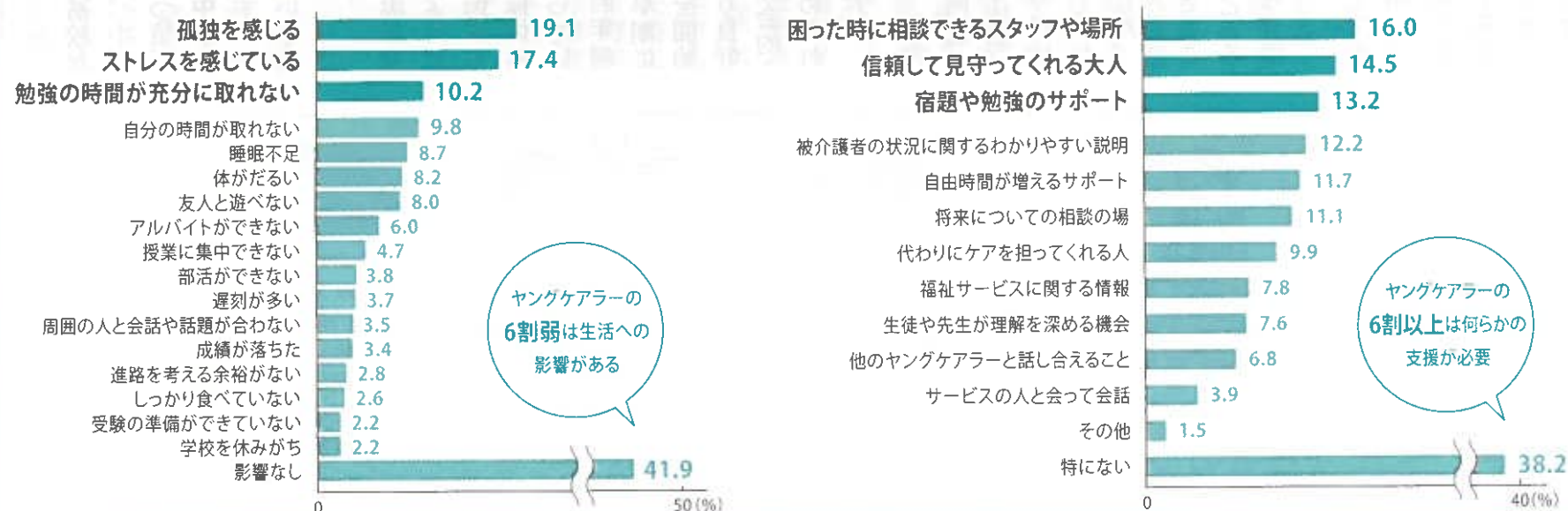
- Q1. ケアラー本人の性別は? …… A 72.5%、B 84.8%ともに7割強〜8割強は女性。
Q2. 代わりにケアを担ってくれる人はいますか? …… A 26.9%、B 30.1%ともに「いない」人が約3割となっている。
Q3. ケアの頻度とケアの時間はどれくらいですか? …… 頻度は A 69.9%、B 81.0%ともに「毎日」が、また1日当たりの時間は A は「2時間以上4時間未満」23.6%、B は「8時間以上」37.5%が最も高い。
Q4. 必要とする支援はありますか。(複数回答) …… A は、「ケアラーに役立つ情報の提供」41.5%、B は「家族が亡くなった後の被介護者のケア」61.8%が最も高い。



ヤングケアラー調査結果

調査対象：県内全ての高校2年生(回答者数48,261人)

- Q1. あなたはヤングケアラーですか(でしたか)? …… 「はい」4.1%(1,969人)。ケアの相手が「幼い(未就学・小学生)」という理由のみでケアしている者を除く。
Q2. ヤングケアラー本人の性別は? …… 「女性」が58.9%で約6割を占めている。
Q3. ケアをしている相手、状況は? …… 相手は「祖父母・曾祖父母」36.9%、状況としては「病気」28.6%が最も高い。
Q4. ケアの内容(複数回答)、頻度、1日当たりの時間は? …… 内容は「家の中の家事」58.0%、頻度は「毎日」35.3%が最も高い。また、時間は学校のある平日については「1時間未満」40.4%、休日についても「1時間未満」26.8%が最も高い。一方、時間について「2時間以上」とする者は、平日25.1%、休日41.5%と、休日はさらにケアが長時間化する傾向がみられる。
Q5. ケアを担っている理由は?(複数回答) …… 「親が仕事で忙しいため」29.7%が最も高い。
Q6. ケアによる生活への影響はありますか。(複数回答)





国に法制化を提言 「ケアラー法をつくる意義とは」

文・吉良 英敏

せていただきました。以下、埼玉県ケアラー支援条例についての私の説明の概要です。

全国初の条例化

私は、真言宗のお坊さんでもあるのですが、無縁死は全国で年間3万2000人に上ります。市町村の公費での火葬・埋葬数はこの10年で倍増。誰も来ない火葬、お骨の共同墓地への埋葬が急増しています。核家族化、単身化、家族親類の疎遠化、貧困など、様々な要因から社会的孤立が進んでいるのです。さらに、10年後、単身世帯の割合は全世帯の40%になるとも言われています。

2020年11月25日、衆議院第一議員会館にて、自民党ケアラー議員連盟（河村建夫会長、橋本岳幹事長、野中厚事務局長）第6回総会が開催されました。議事の中で、私から埼玉県ケアラー支援条例の制定についてご説明いたしました。また、ヤングケアラーの現状について、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 虐待防止対策推進室長、文部科学省初等中等局児童生徒課長が説明されました。

さらに、コロナ禍でのケアラー対策活動報告ならびにヤングケアラー施策の政策提言について、日本ケアラー連盟の森田久美子理事がお話しされました。約1時間の情報共有や意見交換でしたが、法制化に向けた新たな一歩が踏み出せたと思えます。終了後、三ツ林ひろみ内閣府副大臣とも面談し、ケアラーおよびヤングケアラー支援と法制化の必要性についてお話しさ

条約や教育基本法にある教育の機会均等に支障をもたらしているのです。このような背景の中、県民・議会・県庁職員の皆さんのご協力によって、全国初の条例化に結び付けることができました。提案者代表として心より御礼申し上げます。

少しでもヘルパーさんに来てもらえる、急に家を空けなければならぬ事態が生じた時にとっても助かります。ケアラーに必要な支援として、緊急支援体制に**関する要望が最も多いです**。

具体的な施策とは

次に、「この条例で何が変わるのですか？具体的な何をするのですか？」と聞かれることが多いので、具体的な支援策をいくつかお伝えします。

◆相談できる人がいて情報が提供されれば、安心して在宅介護や看護ができます。そうすると、在宅看取りを選択肢に入れることもできます。知識が不足していると、何か起きたらすぐに救急車を呼ぶことになり、安心して在宅介護や看護をすることが難しくなります。

【支援策①】レスパイトケアや緊急支援体制の充実

◆一時的に介護者が介護から離れてリフレッシュできる支援、レスパイトケアの充実を図ります。

【支援策②】スニープが冷めない距離にサロンを

◆現在、埼玉県内に35か所ある認知症介護をはじめとするサロンを1000か所まで増やすことです。まずは、地域包括支援センター1283か所、さらにヤングケアラー支援拠点として、300か所ある**子ども食堂や学習支援の場などの「子どもの居場所」**（今後800か所に増やす計画）をサロン化していきます。

なぜサロンが必要かというと、必要な支援の半分はレスパイトケアなど物理的なサポートですが、残りの半分は心のケアです。困った時、悩んだ時、すぐに行ける距離に、気軽に話せるサロンがあったら、精神的に落ち着くことができたり、専門職につないでもらえたりします。拠点があれば、専門職でなくても、地域のボランティアの方が運営を担うことも可能です。ケアラーにとって温かい居場所を、社会全体でつくってあげたいと思います。

例えば、教員の働く環境を改善すれば、子どもの環境が良くなるという議論がありますが、イメージを広げすぎると、本質的な支援から遠ざかります。同様に、ケア全体としての議論は、一見広い視野で見ているようですが、支援の対象が曖昧になり、本来のケアラー支援がぼやけてしまうのです。

あくまでも、ケアラー目線

先日、ある会議で県の担当者から「ケア全体を見ながら、介護者と被介護者それぞれの支援を両輪として支援していきます」という発言があったのですが、それは条例の理解の仕方として間違いだと思いました。ケア全体を見るとか、両輪として支援し

ていくのは、もちろん良いことです。しかし、「ケアラー支援条例」なので、あくまでも「ケアラー目線」でなければなりません。例えば、教員の働く環境を改善すれば、子どもの環境が良くなるという議論がありますが、イメージを広げすぎると、本質的な支援から遠ざかります。同様に、ケア全体としての議論は、一見広い視野で見ているようですが、支援の対象が曖昧になり、本来のケアラー支援がぼやけてしまうのです。

【埼玉県ケアラー支援条例 各条文の解説】

箇所	中身と解説
第1～3条	第1条が目的、第2条が定義、第3条が基本理念。最も大切にしているのが基本理念であり、要点は以下の3つ。 ①「個人を尊重する ※家族、家庭に押しつけない」 ②「社会全体」で支援する ③「教育の機会」の確保
第4条	県の責務で9条に関わる「推進計画」の策定を規定。
第5～7条	県民、事業者、関係機関のケアラー支援の役割を明記。
第8条	ヤングケアラー支援について「学校」に支援の努力義務を規定。 以下は、私が一般質問で提案した施策例。 ・教職員の研修と学校スタッフの情報共有 ・学校サロンの設置（子どもたちの心身の健康から、生活や人生まで相談ができる新しい場所） ・オンラインサロンによる身近な支援 ・オンライン授業を併用した支援 ・学力・学習状況調査の結果を福祉の分野にも活用
第9条	第4条に規定した県の責務として、推進計画を策定することを規定。そのために有識者会議や 実態調査 が昨年夏から秋にかけて行われた。今後の課題としては、ケアラー調査では高齢者介護に偏っていること、ヤングケアラー調査では中学生や不登校の生徒の状況が把握できていないことが挙げられる。ヤングケアラーについては、国の調査も昨年末から開始され、2020年度内に結果が出る予定。国、県、市町村と連携しながら、引き続きより正確な実態把握に努めていく。
第10条	広報と啓発に関して規定。具体的には「 ケアラー月間 」を計画中。社会全体でケアラーを支援するには、会社や地域の拠点として、保健室やサロンを身近な場所に設置したい。そのためには、県民意識の啓発と理解が不可欠。
第11条	ケアラーを支援する人材の育成に関して規定。埼玉県から県内市町村、そして全国へ啓発・教育できる人材を育てることが望まれる。「 ケアラー手帳 」は、ケアラーのためだけでなく、子どものうちから社会全体で支援することの重要性を教える 福祉教育のための教科書 ともなる。
第12条	民間支援団体等による支援の推進では、ケアラーを支援する人たちをさらにバックアップする施策を講じていく。
第13条	体制の整備では、以下2つを実行し、よりきめ細かくケアラーを支援する仕組みを作る。 ①市町村や関連団体との連携を強化すること ②縦割りを是正すること
第14条	財政上の措置を規定。

「ケアラー法をつくる意義

「社会全体で啓発し、全国で取り組める」

社会全体で支援する体制を整えるには、まずは社会全体でケアラー支援の「必要性」を共有・啓発すること。さらに、その価値観を一層共有するための「福祉教育」が重要です。

そして、会社や学校、地域にサロンや保健室ができれば、社会全体でケアラーを支えることができます。私のお寺でも「寺子屋保健室」として、月一回の座禅会後、地元の看護師さんに健康講座や相談コーナーを開いていただいております。大変好評です。

【国による十分な支援体制が得られる】
例えば、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーといった専門職に、子どもたちは相談していないという実態があります（2018年大阪府大調査）。その理由は、専門職の数や来校の頻度が少な



衆議院第一議員会館にて法制化を提言
(2020年11月25日)

過ぎて、たまにしか来ない大人に対して、子どもたちは心を開けないという部分が多いそうです。教員には、生活指導、特別活動や課外活動などの業務がたたくさんあり、児童生徒の話をじっくり聴く時間がありません。その部分をカバーするために専門職の人数を増やすなど、現代の実情にあった制度設計をするには、国の十分な支援体制が必要不可欠です。

「心のケアの形に多様性が生まれる」

実態調査の結果から、ケアラーが求めている支援は、「情報や相談」が多くを占めていることがわかります。これは、人と交流して情報交換することで安心を得たいという気持ちの表れではないでしょうか。昔前は、家族の人数が多かったため、家庭内で相談できましたし、寄り添う安心感みたいなものがあったように思います。しかし、現代では世帯内の人数が少なく、家族内で心のケアを補えなくなり、ケアラーの心に寄り添う支援があらためて必要となってきたのです。

さらに、より多様な心のケアの形があると思います。イギリスのヤングケアラー支援には、瞑想など心を落ち着ける時間もあります。また、話を聴くだけでも、手でさするだけでも、時には死後の話も（お坊さんとして）その人の心のケアになる可能性があり、「それなら私もできるかも」と感じられるの

ではないでしょうか。誰もがケアに関われるような環境づくりができれば、多様なケアが生まれ、安心して介護や看護ができる社会になると思います。

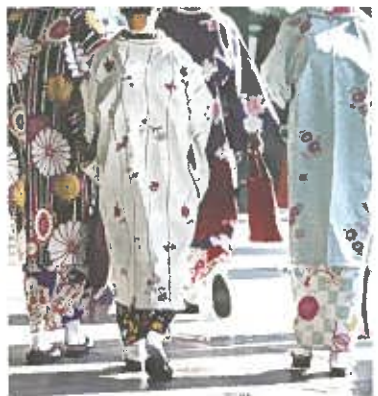
私の次なる目標 「心のケア条例」

「心のケア」は、日本社会が苦手としてきたことかもしれません。自殺、虐待、不登校、引きこもりなど、心の問題は、これまで家庭や一部の教員に丸投げされてきました。しかし、社会的孤立が進む令和の時代には、これを放置するのではなく、外から積極的に多様なケアを提供し、社会全体で問題に取り組んでいくことが必要なのではないでしょうか。

そういった意味で、私の次なる目標は「心のケア条例」です。特に、在宅介護や在宅医療に多様な心のケアを取り入れたい。例えば医療・福祉の現場と、ボランティア訪問看護・介護を結ぶ仕組みづくりができれば、物理的な支援に加え心のケアも、さらに多様で豊かなものになるはず。ケアラー支援条例の理念「個人を尊重する」ために、「心のケア」に重きを置いて活動していきたいと考えています。



埼玉県ケアラー支援条例
の全文はこちらを
ご参照ください



新成人の皆さんへ

皆さんの子どもの頃の夢って何でしたか？

ちなみに、私の小さい頃の夢は、ロケットで宇宙に行くことでした。自分が大人になる頃には、火星への移住はもちろん、広い宇宙を旅でき、「未知の存在である宇宙人と仲良くなり、楽しい世界にする！」という夢です。

先日、世界一の富豪になったテスラのイーロン・マスク氏は、宇宙産業に力を入れています。総資産20兆円でまだ40代。天才で変人とも言われる彼の宇宙計画でさえ、「火星移住はもう少し時間がかかる」とあります。私の夢の実現はいよいよ難しくなりました。でも今もワクワクするんです。

なぜなら「未知の存在と、仲良くなつて、楽しい世界にする」という夢の、この「未知の存在」が世の中にはまだまだ沢山あるからです。例えば、障害を持った方々。障害

編集者コラム 若者へのメッセージ 2021年成人式祝辞から

にも、身体障害、知的障害、精神障害など様々あります。そういった方々は、日本に約1000万人もいます。また他にも、難病の子どもたち、きょうだい児・きょうだい（慢性疾患や障害を抱える子どもの兄弟姉妹）、認知症の高齢者、ケアラーやヤングケアラーなど、これまであまり広く知られていなかった存在、社会的マイノリティーの人たちが世の中にはたくさんいます。そういった人たちと関わり、わかり合つて、楽しい世界をつくっていきたくと思うのです。私の夢は続いています。

さて今、私たちの社会が最も力を入れていることの一つに「デジタル化」があります。AIやビックデータにより、なんでも予測可能な時代になる。黙っていてもスマホに表示される広告のように、私たちが見たいものがアップされてくる。あなたに向いている職業はコレ、合格する確率はコレくらい、あなたが夢を実現する可能性は...と予測してくる。でも、いつの時代も成長や飛躍、そして感動は、既存のデータの外にあります。ぜひ、夢を持って、皆さんの感性で、人生を、社会をアップデートしてほしいです。

皆さんのこれからの活躍を心より祈っています。

吉良英敏

お問い合わせ先

埼玉県議会議員 吉良英敏 〒340-0133 埼玉県幸手市惣新田1465
TEL 0480(48)1172 / FAX 0480(48)0721 ✉ kira.hidetoshi.jimusyo@gmail.com

吉良英敏
公式LINE



ケアラー新聞の発送をご希望の場合は、お名前、ご住所、ご希望の部数を明記の上、公式LINEよりご連絡ください（無料）。（LINEが使われていない方は、お電話でご連絡ください。）

吉良英敏(きら・ひでとし)

1974年、埼玉県幸手市の真言宗「正福院」の16代目として生まれる。衆議院議員秘書を経て、2015年から埼玉県議会議員(2期目)。全国初「ケアラー支援条例」提案者代表。特技は剣道、趣味は芸術創作。



ケアラー新聞の
電子版はこちらより
ご覧ください。